

山武市 まちづくり報告書

～第3次山武市総合計画の進行管理～

海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武



令和5年度実績

目 次

1. 山武市まちづくり報告書の基本的考え方	
(1)山武市まちづくり報告書とは	1
(2)総合計画と行政評価	1
(3)行政評価による総合計画の進行管理	2
2. まちの経営動向	
(1)人口の推移	3
(2)歳出決算額の推移（普通会計）	3
3. 総合計画の評価概要（令和5年度）	
(1)まちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）	4
(2)政策別のまちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）	5
4. 学識経験を有する者の知見	7
5. 総合計画の体系図	14
6. 施策の進み具合の報告	
(1)評価結果の見方	16
(2)施策・基本事業評価結果	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	17
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	31
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	49
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	63
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	85
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	103

1. 山武市まちづくり報告書の基本的考え方

(1) 山武市まちづくり報告書とは

「第3次山武市総合計画（令和5～8年度）」は、4年後の山武市のめざす姿を定めたまちづくりの指針となるものです。（図①参照）

この総合計画では、分野別にめざす姿（目標）を設定しており、定期的にその成果（数値）を把握することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを評価しています。

この「まちづくり報告書」は、現在までのまちづくりの取組状況（目標の推進状況、達成状況）をまとめ、みなさまにお知らせするものです。

(2) 総合計画と行政評価

第3次山武市総合計画では、基本構想は山武市のまちづくりの普遍的な方向性を示しています。また、基本構想の状況を示すまちづくり指標を設定し、基本計画終了時に確認を行うこととしています。

そのため、基本計画に6つの政策を掲げ、それぞれの政策ごとに取組の方針を定めています。6つの政策の下には、23の「施策」と104の「基本事業」が位置付けられ、さらに「基本事業」を実現する最も具体的な手段としての「事務事業」があり、総合計画の体系を構築しています。（図①参照）

図① 総合計画の体系



また、取組を進めていく中で、ヒト、モノ、カネといった限られた経営資源を有効に活用するとともに、みなさまに分かりやすい行財政運営を行うひとつの方策として、本市では「行政評価」の考え方を導入しています。

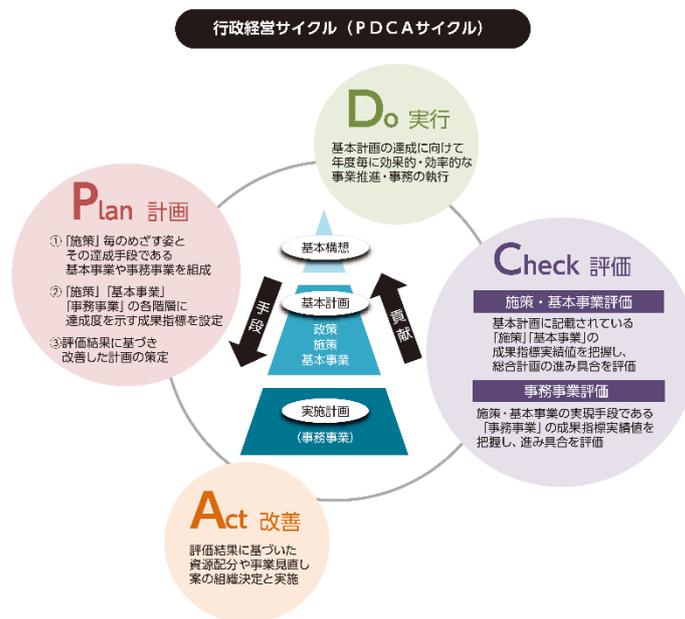
(3) 行政評価による総合計画の進行管理

山武市では総合計画の進行管理のために、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）のサイクルを活用した行政評価の考え方を取り入れ、目標年次に向けた総合計画の進行管理を行い、成果の向上を図ります。（図②参照）

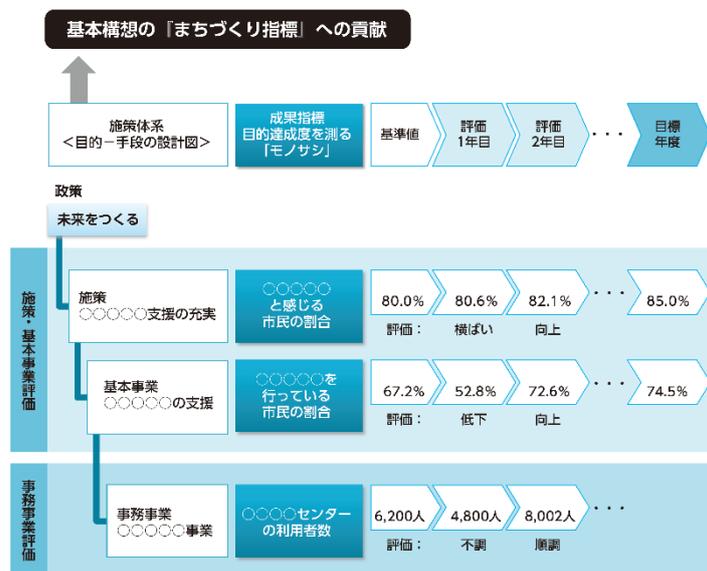
行政評価の考え方を取り入れた第3次山武市総合計画では、「施策」と「基本事業」にそれぞれ「めざす姿」を掲げ、その「めざす姿」の達成度を数値で表すモノサシとして「成果指標」を設定し、計画の最終年次である令和8年度に、達成すべき目標値を定めています。

総合計画の進行管理を行ううえで、毎年「施策」、「基本事業」の成果を評価し、目標に向かって遅れが出ている項目については、現状を把握し、なぜ数値が伸びていないのかというような原因を分析し、事業の見直しを検討、実施することで目標の達成を目指します。（図③参照）

図② 総合計画の進行管理



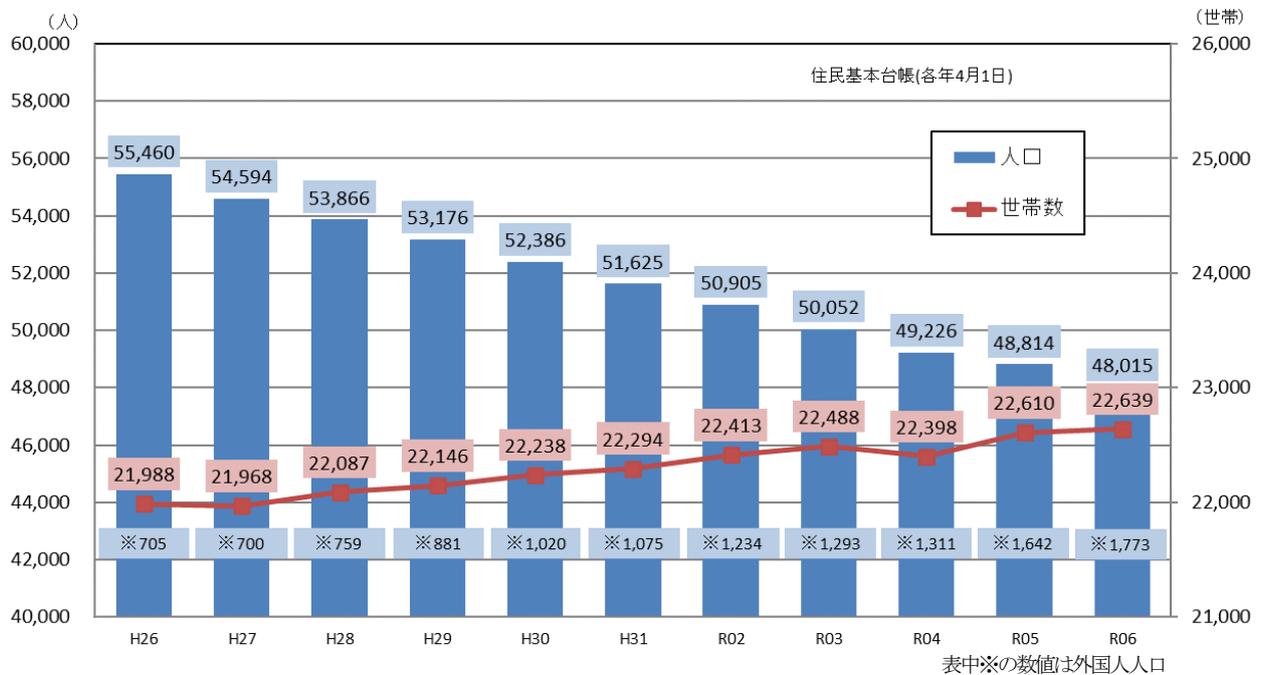
図③ 成果指標に基づく進行管理



2. まちの経営動向

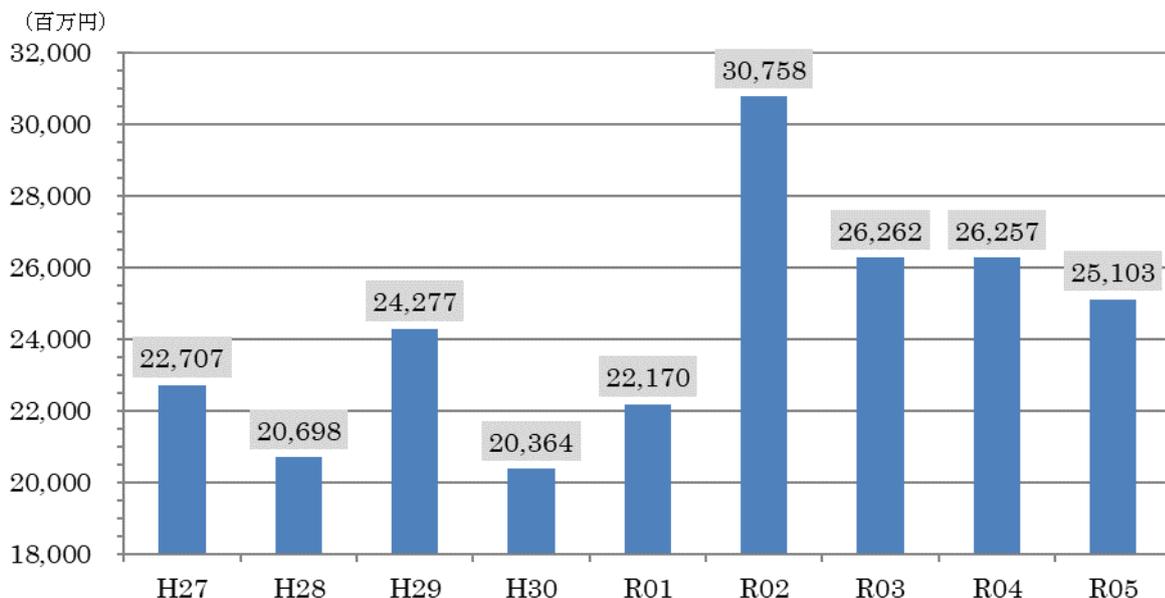
(1) 人口の推移

人口は減少傾向が続いています。出生率の低下と高齢化に伴う死亡者数の増加による「自然減」が大きく影響しています。なお、山武市の高齢化率は令和5年度の37.0%から令和6年度は37.6%と増加しています。一方で世帯数は、核家族化の進展等、家族のあり方の変化が進んでいるものと推察できます。



(2) 歳出決算額の推移 (普通会計)

令和5年度の歳出については、昨年度と比較して11億5千4百万円減の25億1千万円となりました。主な事業内容は、物価高騰対策として実施した地域応援クーポン券事業や子育て世帯生活応援特別給付金支給事業などとなっています。



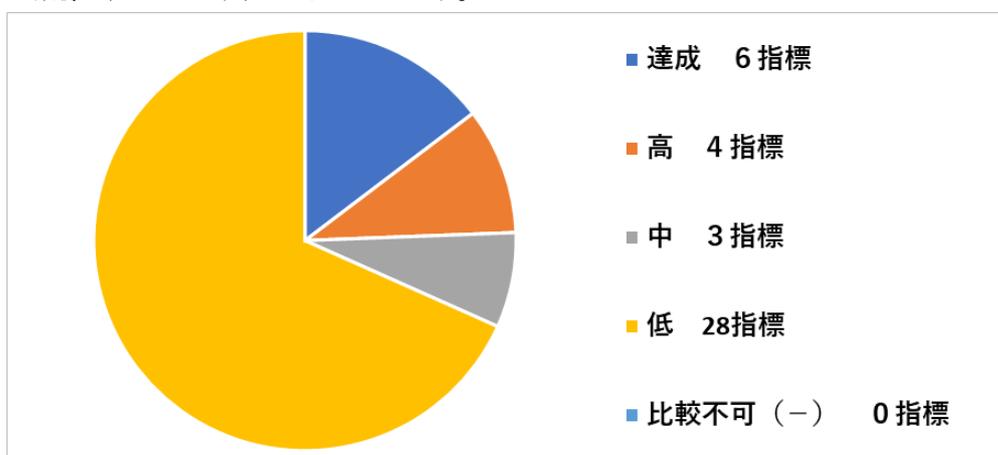
3. 総合計画の評価概要（令和5年度）

(1) まちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）

山武市総合計画で設定された246の成果指標の進捗状況は下記のとおりとなっています。

① 施策の成果指標動向【23施策41指標】

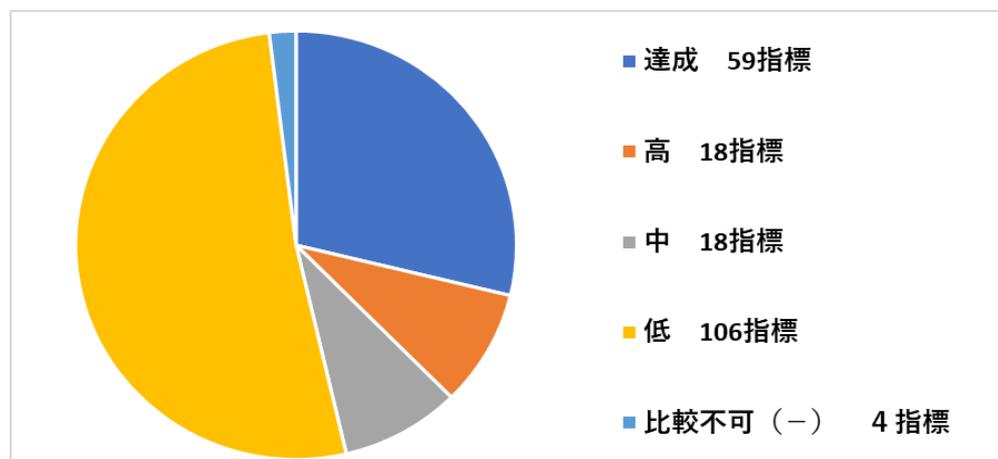
23施策の成果として設定されている41の成果指標について、成果が向上し、めざそう値に対して概ね順調な成果を上げていると評価したもの（評価区分「達成」「高」）は10指標（24.4%）となっています。横ばいのもの（評価区分「中」）が3指標（7.3%）、成果が低調もしくは、低下しているもの（評価区分「低」）が28指標（68.3%）となっています。



② 基本事業の成果指標動向【104基本事業205指標】

23施策の成果（前述の41成果指標）を向上させるための手段として、施策体系に位置づけられている104の基本事業の成果を示すものとして205の成果指標が設定されています。

それらの指標の動向として、成果が向上し、めざそう値に対して概ね順調な成果を上げていると評価したもの（評価区分「達成」「高」）が77指標（37.7%）、横ばいのもの（評価区分「中」）が18指標（8.8%）、成果が低調もしくは、低下しているもの（評価区分「低」）が106指標（51.7%）となっています。



※比較不可…主に国、県等の統計データの実施年度が隔年や5年毎等で成果指標の実績値を毎年把握することができず、令和5年度の評価として進捗を検討できないものを指します。

(2) 政策別のまちづくりの進捗状況 (成果指標値の推移)

① 施策の成果指標動向【23施策41指標】

6つの政策	成果指標の動向					<input type="checkbox"/> 目標達成、概ね順調な主な指標 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい、成果が低調、低下している指標
	達成	高	中	低	—	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	1	0	1	2	0	<input type="checkbox"/> 都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度 <input checked="" type="checkbox"/> 公共交通網の満足度 <input checked="" type="checkbox"/> 市内移動の交通手段に困っている市民の割合 <input checked="" type="checkbox"/> 災害・火災による死者数
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	3	2	1	4	0	<input type="checkbox"/> 生活環境に関する苦情件数 <input type="checkbox"/> 1人1日あたりのごみの排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 山武市の温室効果ガス(CO2)排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 人口1,000人当たりの交通事故発生件数
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	0	0	0	5	0	<input checked="" type="checkbox"/> 農業所得 <input checked="" type="checkbox"/> 黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数) <input checked="" type="checkbox"/> 年間観光客入込数 <input checked="" type="checkbox"/> 年間宿泊観光客数
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	1	0	1	7	0	<input type="checkbox"/> 生活習慣病死亡率 <input checked="" type="checkbox"/> 介護保険サービスの満足度 <input checked="" type="checkbox"/> 人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	0	1	0	5	0	<input type="checkbox"/> 学校生活に満足している生徒の割合 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的) <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ活動に親しむ市民の割合 <input checked="" type="checkbox"/> あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	1	1	0	5	0	<input type="checkbox"/> この1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えたことがある市民の割合 <input type="checkbox"/> 適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数 <input checked="" type="checkbox"/> 市民活動(地域活動)に参加している市民の割合 <input checked="" type="checkbox"/> 施策の目標達成率

②基本事業の成果指標動向【104基本事業205指標】

6つの政策	成果指標の動向					<input type="checkbox"/> 目標達成、概ね順調な主な指標 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい、成果が低調、低下している指標
	達成	高	中	低	—	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	3	1	8	12	0	<input type="checkbox"/> 市内公共交通利用者数（基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等） <input type="checkbox"/> 職員訓練（機能別、避難所開設・運営等）回数 <input checked="" type="checkbox"/> 道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数 <input checked="" type="checkbox"/> 火災の損害額
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	14	4	2	11	0	<input type="checkbox"/> 空地の管理（雑草等）苦情件数 <input type="checkbox"/> 家庭ごみ排出量 <input type="checkbox"/> 防犯活動を行っている区・自治会や団体の数 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物不法投棄件数
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	4	4	1	14	0	<input type="checkbox"/> 家畜伝染病発生件数（酪農、養豚、養鶏） <input type="checkbox"/> 森林整備事業年間実施箇所数 <input checked="" type="checkbox"/> オライはすぬまの農林水産物の販売額 <input checked="" type="checkbox"/> 観光施設（海水浴場）の利用者数
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	11	6	5	27	4	<input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座受講者数 <input type="checkbox"/> ひとり親家庭の自立率 <input checked="" type="checkbox"/> 生きがいを持っている高齢者の割合 <input checked="" type="checkbox"/> がん検診を年1回受けている市民の割合
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	12	1	2	24	0	<input type="checkbox"/> 学校施設の不具合による学校生活支障件数 <input type="checkbox"/> 芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合 <input checked="" type="checkbox"/> 生活習慣の改善に努めた生徒の割合 <input checked="" type="checkbox"/> 審議会などに女性委員が登用されている割合
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	15	2	0	18	0	<input type="checkbox"/> 市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数 <input type="checkbox"/> 市保有の土地活用率 <input checked="" type="checkbox"/> 基本事業の目標達成率 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の漏洩件数

4. 学識経験を有する者の知見

慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員
金子 光

1. 山武市の総合計画と行政評価

(1) 山武市の総合計画

山武市の総合計画は市の最重要計画として6つの政策から構成されており、それぞれの政策で明確な目的が掲げられている。今回評価を行う総合計画は、令和5年度から令和8年度までを計画期間とし、「海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり」「成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり」「将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり」を進めるために6つの政策、その下に23の施策・104の基本事業・約800の事務事業が存在している。それぞれが上位の目的を達成するための手段という関係が成り立っており、政策－施策－基本事業という政策体系の明示化により政策目的と手段の明確化・体系化が図られている。

(2) 山武市の行政評価

山武市の行政評価制度は施策・基本事業の達成度を評価する制度であり、目的としては以下の6つが挙げられる。

- ①総合計画に基づいた成果重視の事業実施を行う
- ②行政資源の効率的配分とその効率的活用を可能とする基準づくり
- ③職員の意識改革を促進し、コスト意識・マネジメント意識を醸成する
- ④市民への説明責任を果たす
- ⑤総合計画の策定とそれに伴う進捗状況（達成度）を評価し、次の計画に生かす
- ⑥不要な事業、無駄な事業を削減・縮小・廃止する

評価の実施方法としては、施策と基本事業について内部評価が行われており、令和6年度は令和5年度から始まった第3次山武市総合計画の初年度の評価にあたる。

施策・基本事業の評価結果は、「まちづくり報告書」を通して市民に情報を公開し説明責任を果たしている。

2. 「まちづくり報告書」の特徴

(1) グラフによるトレンドの把握

それぞれの指標についてグラフが記載されており、その中で基準値とめざそう値が設定されておりトレンドが分かる。

(2) <原因>における分析

グラフから現状を把握した上で、評価のなかで<状況>と<原因>が書かれ分析が行われている。

(3) 市民生活との関連

基本事業の記述については市民生活に直結するものが取り上げられている。

(4) アウトカム指標の活用

アウトカム指標はまちづくりアンケートの結果や統計データ、業務取得データなど、その施策の目的・意図に貢献したかどうかを検討しながら設定されている。

(5) 次年度へのフィードバック

行政サービスを市民のニーズに合わせて効果的・効率的に提供していくために、行政サービスの分野ごとに目標と達成度を示す指標を定めデータに基づく客観的な評価を行っている。そして、評価の結果を次年度の計画に活用しようと取り組んでいる。

3. 「まちづくり報告書」の各項目の内容と課題

(1) 「施策のプロフィール」

- ① 「施策の対象」が書かれており、それぞれの施策について誰のために実施しているかが明らかになっている。
- ② 「施策の意図」が書かれており、一つひとつの施策について、市民が市の目標や方向性をイメージできる。

(2) 施策・基本事業の「指標」について

山武市の成果指標は、上位から「施策」、「基本事業」、「事務事業」として構成される体系の各階層が目的と手段の関係になっている。「施策」や「基本事業」で定めた対象や意図に対し、成果達成度を分かりやすくする観点から指標を選択し、その進捗状況を具体的な数値で測っている。

(3) 施策・基本事業の「グラフ」について

- ① 指標について客観的なデータが示されており現状を把握できる。
- ② 前年度との比較で現状を把握できトレンドが分かる。

(4) グラフの「めざそう値」について

施策の成果指標の「めざそう値」を設定していることにより、山武市の未来に対する明確な目標が分かる。また、設定した基準も明確になっており、市民にとっても分かりやすい。

達成目標の設定は、Specific（具体的である）、Measurable（測定可能である）、Ambitious（意欲的である）、Realistic（現実的である）、Time bound（時宜を得ている）であることが望ましいが、山武市の「めざそう値」はこれらすべてを満たしている。Ambitious かつ Realistic な目標を設定することは難しいが、山武市の「めざそう値」は、これらを両立できる値に適切に設定されている。これにより市民も未来に対する目標や方向性を共有することができる。

(5) 「評価」のなかの「原因」について

① 政策 01 施策 01 基本事業 03 「駅周辺の利便性の向上」

「基本事業成果指標」の「駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)」において、「蓮沼地域を除く各地域で一定数の満足度を得られており、成東駅南側の整備などを実施した結果、時間の経過とともに利用の定着化が図られたことで、満足度が上昇した要因であると考えられます。」と記載されており、令和4年度実績のまちづくり報告書と同様の記述となっている。蓮沼地域の満足度が低い原因を分析し、対策を講じる必要がある。

② 政策 02 施策 01 「生活環境の充実」

「施策の成果指標」の「快適な生活環境が整っていると思う市民の割合」において、「アンケートの集計結果を分析すると、空き地の管理、不法投棄、野焼きが増加傾向となっており、生活環境に対して問題意識を持つ方が多くなっていることが要因と考えられます。」と記載されている。令和4年度実績のまちづくり報告書においても「野焼き、不法投棄に関する苦情が増加傾向にあることが要因と考えられます」と同様の要因が挙げられている。野焼き、不法投棄に関する苦情について、どのような対策を講じたか記述することが望ましい。

③ 政策 02 施策 01 「生活環境の充実」

「施策の成果指標」の「住宅内で航空機音を不快に感じる市民の割合」は、基準値と比較して 5.4 ポイント減少しているが、令和 4 年度実績と比較すると、2.4 ポイント増加している。＜原因＞において、「成田国際空港の発着する航空機の便数が増加しましたが、防音工事や、航空機の中・小型化や低騒音化が進んでいることが要因と考えられます。」と記載されており、前年度のものと同じ内容となっている。低騒音化が進んでいるにも関わらず、不快に感じる市民の割合が増加している原因を分析し、どのような対策を講じているかを記述することが望ましい。

④ 政策 02 施策 01 基本事業 03 「航空機騒音等の対策」

「基本事業成果指標」の「航空機騒音対策に対する満足度」について、「課題内容」に記載されている「航空機の発着数の増加により、騒音対策に対する満足度が低下することが懸念されます。」という文章は、令和 4 年度実績のまちづくり報告書においては、＜原因＞のなかで記載されている。前年度から課題として認識していることに対して、どのような対策を講じているのか記載することが望ましい。

⑤ 政策 02 施策 04 基本事業 01 「防犯体制の充実」

「基本事業成果指標」の「防犯活動を行っている協力者数」の＜原因＞において、「『こども 110 番の家』の協力者について、個人商店の閉店や農家の減少、共働き世帯の増加等に伴い、その役割を十分に果たせる世帯が減少しているため、設置場所の精査を行い十分に役割を果たせる世帯等に対し新たに看板を配布し直し、実効性を確保する方針に変更したことが原因です。」と記載されており、令和 4 年度実績のまちづくり報告書と同じ内容となっている。大幅な減少傾向が続いているなかで、原因分析が正しいか検証が必要である。

⑥ 政策 03 施策 01 基本事業 01 「経営の安定化の推進」

「基本事業成果指標」の「耕地面積(水田、畑)」において、耕地面積が減少した要因として、「農業者の高齢化等による離農や規模縮小」が挙げられている。原因を踏まえて、今後は後継者不足に対する対策を講じる必要がある。

⑦ 政策 04 施策 04 「子育ての支援」

「施策の成果指標」の「子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合」について、令和4年度実績のまちづくり報告書の〈原因〉では「長引くコロナ禍において、子どもの感染の不安などが依然として残っていることなどが原因」と記載されているが、令和5年度の数値は減少している。根本的要因は何なのかを考察したうえで、対策を講じる必要がある。

⑧ 政策 04 施策 05 基本事業 01 「地域福祉の担い手育成」

「基本事業成果指標」の「福祉活動の市民活動団体の加入者数」の〈原因〉において、「新型コロナウイルス感染症の5類移行により、生活状況が変わり、市民活動団体が増加していることが要因と考えます。」とあるが、令和5年度は令和4年度実績の1,549人から88人減少している。客観的な事実を把握したうえで、要因を分析することが望ましい。

⑨ 政策 05 施策 01 「学校教育の充実」

「施策の成果指標」の「学校生活に満足している児童の割合」の〈原因〉において、「新型コロナウイルス感染症の影響で控えていた行事を早く元に戻した学校ほど満足度が高く出ている」とあるが、令和4年度より2.4ポイント減少している。客観的な事実を把握したうえで、要因を分析することが望ましい。

⑩ 政策 05 施策 01 「学校教育の充実」

「施策の成果指標」の「学校生活に満足している生徒の割合」の〈原因〉において、「アンケート結果を分析すると、新型コロナウイルス感染症の影響で控えていた部活動や体育祭、修学旅行等の学校行事がコロナ禍前と同様に実施できたことなどが要因」とあるが、令和4年度実績のまちづくり報告書でも同じ記載となっている。しかも、対前年度で0.2ポイント減少しており、満足度がどのような要因によって決定されるかを項目ごとに数値を出したうえで、対策を講じる必要がある。

⑪ 政策 05 施策 01 基本事業 01 「『確かな学力』の向上と『活きた学力』の推進」

「基本事業成果指標」の「学力の定着が見られる生徒の割合」の〈原因〉において、「一人一台端末を活用した学習指導法の工夫により、個の習熟に応じた指導を試みているものの、活用頻度等、学年に応じて差があると考えられます。」と記載されているが、令和4年度実績のまちづくり報告書でも同様の記述がある。生徒の学力向上に対して、どのような対策を講じているかを記述することが望ましい。

⑫ 政策 05 施策 03 「スポーツの振興」

「施策の成果指標」の「スポーツ活動に親しむ市民の割合」の＜原因＞において、新型コロナウイルスの影響について記載があるが、新型コロナウイルス発生前から数値は高くなく、コロナ禍においても新型コロナウイルスとは関係ない要因で数値が変動している。数値が減少している根本的要因は何かを考察する必要がある。

⑬ 政策 06 施策 01 「協働と交流によるまちづくり」

「施策の成果指標」の「市民活動（地域活動）に参加している市民の割合」について、令和4年度実績の＜原因＞においては、「新型コロナウイルス感染症拡大」を挙げているが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も減少が続いている。令和5年度の＜原因＞において記載されている「活動主体の高齢化」「活動自体が休止してしまう団体」については令和4年度実績のまちづくり報告書にも記載されており、要因分析をさらに進める必要がある。

⑭ 政策 06 施策 01 基本事業 04 「多文化共生社会の推進」

「基本事業成果指標」の「多文化共生社会への行政・市民団体の取組数」において、令和4年度実績のまちづくり報告書では、「オリンピック関連で開始した事業が終了したことが減少となった要因」と記載されている。令和5年度のまちづくり報告書では、「海外派遣・受入れ事業の一部休止」が挙げられている。令和4年度も令和5年度も同じ8件であるが、原因において異なる説明がされている。客観的な事実を踏まえて、原因を説明することが求められる。

⑮ 政策 06 施策 02 基本事業 02 「広聴の充実」

「基本事業成果指標」の「市民の声が市政に届いていると思う市民の割合」において、「『市長への手紙』や、区長要望などに出した意見が成果に結びついていないと感じている市民が一定の人数いることが要因」と記載されているが、令和4年度実績のまちづくり報告書でも同様の記載がある。市民の意見をどのようにフィードバックしているのか記述することが望ましい。

4.「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」に向けて

山武市においては市民の生活に直結する事業を中心に評価が実施されている。平成25年度から始まった後期基本計画は計画期間が終了し、これまでのまちづくりの評価結果を踏まえ、令和元年度から第2次山武市総合計画が策定され、今後のまちづくりに向けて、着実に対応が図られてきた。

また、この「学識経験を有する者の知見」で提言したことが次年度の「まちづくり報告書」の作成にフィードバックされており、年々、評価手法が進化している。

第2次山武市総合計画は令和4年度で終わり、令和5年度から第3次山武市総合計画が始まった。山武市を取り巻く環境の変化に的確に対応し、今後も行政評価の結果を政策にフィードバックすることで、「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」を実現していくことが望まれる。

5. 総合計画の体系図

- 基本構想
- ・ 海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり
 - ・ 成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり
 - ・ 将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり

政策名	施策名	基本事業名	重点分野
1 暮らしを支える快適なまちづくり	1 地域核をネットワークする都市整備の推進	1 道路・橋りょうの整備・維持管理	
		2 成田空港周辺地域としての基盤整備	
		3 駅周辺の利便性の向上	●
		4 公園の再整備と適正な管理	
		5 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用	●
		6 交通安全施設の整備	
	2 持続可能な公共交通網の整備推進	1 市内における交通手段の確保	●
		2 バスでの成田空港方面へのアクセス向上	
		3 鉄道の利便性向上	
3 災害に強い強靱なまちづくりの推進	1 防災意識・知識の向上		
	2 地域防災力の向上		
	3 災害対応力の向上		
	4 強靱化対策の推進	●	
	5 消防力の充実		
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	1 生活環境の充実	1 生活公害の対策	
		2 美化運動の推進と不法投棄防止対策	
		3 航空機騒音等の対策	
	2 脱炭素・循環型社会の形成	1 地域脱炭素化の推進	●
		2 3Rの推進とごみ処理の適正化	
		3 污水处理の推進	
	3 上水道の充実	1 安定給水の確保	
		2 水質の安全性の確保	
		3 地震等の災害対策	
		4 経営の健全化と広域化の推進	
	4 防犯・交通安全の推進	1 防犯体制の充実	
		2 児童・生徒の安全確保	
		3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理	
		4 消費者トラブルの防止	
		5 交通安全意識の向上	
	3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	1 農林水産業の振興	1 経営の安定化の推進
2 担い手の育成・支援			●
3 市内農林水産物の知名度向上と消費拡大			
4 農業基盤整備の推進			
5 森林再生の推進			●
2 商工業の振興と地域経済活性化		1 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進	●
		2 工業の振興	●
		3 成田空港経済圏の形成	●
3 観光の振興		1 魅力ある観光事業の推進	●
	2 海岸を活用した観光推進		
	3 観光情報の発信		

政策名	施策名	基本事業名	重点分野	
4	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり 「保健・福祉・医療の充実」	1 高齢者福祉の充実	1 生きがいづくりと介護予防の推進	●
			2 暮らしを支えるサービスの充実	
			3 支えあいの仕組みづくりの促進	
			4 介護保険サービスの推進と適正運営	
			5 高齢者の人権尊重	
		2 障がい者（児）福祉の充実	1 自立支援サービスの促進	
			2 地域生活支援の促進	
			3 発達に気になる子への支援	
			4 障がいのある人の人権尊重	
		3 健康づくりの推進	1 心身の健康管理の充実	●
			2 健診の受診率向上と生活習慣の改善	
			3 母子の健康管理	
			4 子どものむし歯対策の推進	
			5 感染症等対策の推進	
			6 医療体制の充実	●
			7 健康保険制度の安定的な運営	
		4 子育ての支援	1 幼保機能の充実	
			2 学童保育の充実	
			3 子育て不安の軽減	
			4 子育て家庭への援助	
5 子どもの人権の尊重				
6 次世代育成に係る家族形成の支援	●			
5 地域福祉の充実とセーフティネットの推進	1 地域福祉の担い手育成			
	2 社会福祉機関・団体の充実			
	3 生活困窮者自立支援の充実			
	4 生活保護制度の適正な実施			
	5 公営住宅の維持管理			
5	生涯を通じて人と人がふれあえるまちづくり 「教育・文化の振興」	1 学校教育の充実	1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	
			2 「健やかな体」の育成	
			3 「豊かな心」を育む	
			4 ICT教育の実践	
			5 教育環境の整備	●
			6 地域と学校の協力体制の推進	
		2 生涯学習の推進	1 主体的な学習の推進	
			2 生涯学習施設の利用促進	
			3 文化財の保護・活用	
			4 芸術文化活動の充実	
			5 青少年の育成	
		3 スポーツの振興	1 スポーツ活動の充実	
			2 体育関係団体・指導者の育成	
		4 人権尊重のまちづくり	3 体育施設の利用促進	
			1 人権教育・人権啓発の推進	
			2 人権擁護の推進	
3 男女共同参画の推進				
6	市民と行政が協働してつくるまちづくり 「コミュニティ推進と行財政の効率化」	1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化	
			2 市民活動の活性化	
			3 協働のまちづくり推進の仕組みづくり	
			4 多文化共生社会の推進	
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 広報の充実	
			2 広聴の充実	
			3 市の魅力発信の強化	●
			4 議会情報の公開の推進	
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進	
			2 人材育成と効率的な組織運営	
			3 健全な財政運営	●
			4 税収の確保	
			5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	●
			6 自治体DXの推進と市民サービスの向上	●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理	
			2 積極的な選挙啓発	
			3 監査の充実	
			4 情報公開及び個人情報保護の推進	
			5 適正な戸籍・住民基本台帳事務管理	
			6 公平・公正な課税	

6. 施策の進み具合の報告

(1) 評価結果の見方

政策 01 暮らしやすさを実現する地域づくり
施策 01 地域核をコアとして、コアから周辺地域へサービスを提供する体制の構築

総合計画の体系です。6つの政策、23の施策、104の基本事業があります。

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
対象：誰を（何を）	地域核の核となる施策・基本事業のめざす姿を記載しています。

基準値は一部を除き令和3年度、めざそう値は令和8年度となります。

施策の成果状況と評価

指標①	都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【土木課】	%	56.7		57	56.7

対前年度

達成状況 (達成)

評価内容：施策・基本事業の成果指標ごとに評価内容を記載しています。評価結果に基づき、次年度以降の施策、事業の方向性を検討するための判断材料として活用します。

実績値の推移をグラフで示しています。

基準値からめざそう値への方向性をラインで示しています。

【評価区分】

- ☀️ (向上)：成果が順調に推移しているもの
- ☀️ (横ばい)：成果が横ばい又はやや向上しているもの
- ☁️ (横ばい)：成果が横ばい又はやや低下しているもの
- ☔️ (低下)：成果が低下しているもの
- ：比較不可

【達成状況】

- 🏰 (達成)：めざそう値を達成しているもの
- (高)：めざそう値に近いもの
- (中)：「高」と「低」の間のもの
- (低)：基準値から悪化しているもの
- ：比較不可

(2) 施策・基本事業評価結果

【政 策】

1 暮らしを支える快適なまちづくり

【施 策】

1-1 地域核をネットワークする都市整備の推進

1-2 持続可能な公共交通網の整備の推進

1-3 災害に強い強靱なまちづくりの推進

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・駅周辺の市街地においても、人口減少が進んでいることから、駅の交通結節機能を活かした魅力と賑わいを形成するため、駅周辺の都市計画道路の整備を促進します。その他の地域は、人口減少に伴い増加する空家への対策等を通じて、秩序あるまちなみ形成を図ります。

・国・県道などの幹線道路については、交通混雑の緩和や歩行空間の確保が求められており、関係機関と連携し整備促進を図ります。

・生活道路の整備については、児童・生徒の通学時の安全確保の重要性が高まっています。また、成田空港の機能強化に伴い、成田空港へのアクセスの向上が求められていることから、産業振興を視野に入れた整備促進を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度(%)	成果		57	☀ (横ばい)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)(km)	成果		1.65	☀ (横ばい)	---	
01	道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果		4	☂ (低下)	---	
02	成田空港関連事業実施箇所数(計画期間累計)(箇所)	成果		23	☀ (横ばい)	---	
03	駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)(%)	成果		64.3	☀ (向上)	---	
04	遊具設置等の再整備をした公園数(計画期間累計)(箇所)	成果		0	☁ (横ばい)	---	
04	公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果		1	☁ (横ばい)	---	
05	空家改善数(計画期間累計)(件)	成果		29	☀ (向上)	---	
05	景観条例指導件数(件)	成果		0	☀ (向上)	---	
06	交通安全施設設置等による危険解消箇所数(計画期間累計)(箇所)	成果		5	☀ (横ばい)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民 ・ 市全域 	地域核の拠点機能及びネットワークが形成され、利便性が向上します。

施策の成果状況と評価

指標	都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【土木課】	%	56.7		57	56.7
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度は57.0%で、基準値と比較して0.3ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 公園及び道路について、数、整備範囲が充足していることで満足度が維持できた要因であると考えます。</p>						対前年度

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
 なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	道路・橋りょうの整備・維持管理
基本事業 02	成田空港周辺地域としての基盤整備
基本事業 03	駅周辺の利便性の向上
基本事業 04	公園の再整備と適正な管理
基本事業 05	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
基本事業 06	交通安全施設の整備

基本事業01 道路・橋りょうの整備・維持管理

指標	道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【土木課】	件	1		4	0	☔ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度末の道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数は4件となり、基準値より3件増加しました。</p> <p>< 原因 > 道路の老朽化に伴い、維持・修繕箇所は増加傾向にあり、道路パトロール等により道路状況を把握し、安全性の確保に努めています。が、舗装剥離(穴)により損害賠償が4件発生したことが原因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業03 駅周辺の利便性の向上

指標	駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【都市整備課】	%	62		64.3	64	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の駅周辺の利便性に対する満足度は64.3%で、基準値と比較して2.3ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 連沼地域を除く各地域で一定数の満足度を得られており、成東駅南側の整備などを実施した結果、時間の経過とともに利用の定着化が図られたことで、満足度が上昇した要因であると考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ☀ (達成)

基本事業05 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

指標	空家改善数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【都市整備課】	件	0		29	68	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の空家改善数は29件で、基準値と比較して29件増加しました。</p> <p>< 原因 > 空家対策として実施した適正管理に対する助言書の通知などの取り組みにより、空家の適正管理に対する所有者の意識が高まり、空家の改善に至ったケースが増えたことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (中)

基本事業06 交通安全施設の整備

指標	交通安全施設設置等による危険解消箇所数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【土木課】	箇所	0		5	32	☀ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度は危険解消のため、交通安全施設等の対策工事を実施したことにより、基準値と比較して5箇所増加しました。</p> <p>< 原因 > 通学路安全プログラム(合同点検)等で危険と診断された箇所や、見通しの悪い交差点等、順次整備したことが要因とです。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 02 持続可能な公共交通網の整備の推進

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・人口減少及び少子高齢化（令和5年4月1日現在、高齢化率35.9%）が急激に進んでおり、日常生活の移動手段がない高齢者が増加傾向にあるため、交通弱者の移動手段として公共交通の重要性は大きくなっています。
- ・市内の移動に係る公共交通については、市内3区域内を運行するデマンド対応の乗合タクシーと、各地域の拠点及び主要施設間を連絡する基幹バスを運行し、持続可能な公共交通の確立を目指します。
- ・市外の移動に係る公共交通については、人口減少等の影響により鉄道及び路線バスの利用者が減少していますが、利用の促進等、運行会社と連携し維持・存続を図ります。
- ・令和5年度は「山武市地域公共交通計画（平成30年度から令和5年度）」に基づき、乗り合いタクシーと基幹バスの計画的な運行に取り組みました。
- ・令和5年度に「山武市地域公共交通計画（計画期間は、令和6年度から10年度）」を策定し、各交通手段の連携と維持向上、より公共交通を使いやすい環境づくりを目指し、計画的に取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
公共交通網の満足度 (%)	成果		41.1	☂ (低下)	---	
市内移動の交通手段に困っている市民の割合 (%)	成果		39.2	☁ (横ばい)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内公共交通利用者数 (基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等) (人)	代替		130,356	☀ (向上)	---	
01	バス運行状況の満足度 (%)	成果		40	☁ (横ばい)	---	
02	成田空港方面への年間バス利用者数 (人)	成果		20,222	☀ (向上)	---	
03	1日当たりの鉄道利用者数 (人)	代替		3,961	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 02 持続可能な公共交通網の整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> 市民 交通事業者 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の特性を活かし、市民生活の移動手段が確保され、移動の利便性が高まります。

施策の成果状況と評価

指標	公共交通網の満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	%	45.1		41.1	46
評価	<p>< 状況 > 公共交通網の満足度は41.1%であり、基準値と比較して4.0ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > J R東日本のダイヤ改正により、特急電車が大幅に減少したことや、2024年問題に起因する運転手不足等の影響により、成東車庫からの東京駅や千葉駅行き的高速バスが減便されたことが、要因として考えられます。</p>					対前年度	

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	%	37.7		39.2	37.7
評価	<p>< 状況 > 市内移動の交通手段に困っている市民の割合は39.2%であり、基準値と比較して1.5ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > アンケート結果では、地域別で成東36.0%、山武45.8%、蓮沼39.2%、松尾33.3%で山武地域の割合が高くなっています。また、年齢別では10歳代が72.9%、職業別では学生が74.0%と割合が高くなっていることから、若年層の交通手段確保に配慮した通学などへの取り組みがされていないことが要因です。</p>					対前年度	

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市内における交通手段の確保

基本事業 02 バスでの成田空港方面へのアクセス向上

基本事業 03 鉄道の利便性向上

基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	市内公共交通利用者数（基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等）	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	人	124,803		130,356	126,000
評価	<p>< 状況 > 市内公共交通利用者数は130,356人であり、基準値と比較して5,553人増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 利用料金の改定により乗合タクシーの利用者数は、3,866人減少しましたが、夏季観光シーズンにおいて、海水浴場や蓮沼ウォーターガーデンへの観光客の海岸線利用者数が5,463人増加したこと、基幹バス利用者数が4,691人増加したことが、要因として考えられます。</p>						☀ (向上)
		対前年度	---	達成状況	☑ (達成)		

基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	バス運行状況の満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	%	41.8		40	50
評価	<p>< 状況 > バス運行状況の満足度は40.0%であり、基準値と比較して1.8ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 2024年問題に起因する運転手不足等の影響により、民間事業者が運行する路線バスである千葉線及び高速バスであるフラワーライナーとシーサイドライナーが減便されたことなどが、満足度が低下した要因として考えられます。</p>						☁ (横ばい)
		対前年度	---	達成状況	☐ (低)		

基本事業02 バスでの成田空港方面へのアクセス向上

指標	成田空港方面への年間バス利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【空港地域振興課】	人	15,358		20,222	26,500
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の成田空港方面への年間バス利用者数は20,222人であり、基準値と比較して4,864人増加しました。</p> <p>< 原因 > 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、規制緩和等により空港従事者や観光客などの空港利用者が増加したことが要因と考えられます。</p>						☀ (向上)
		対前年度	---	達成状況	☑ (中)		

基本事業03 鉄道の利便性向上

指標	1日当たりの鉄道利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	人	3,670		3,961	4,500
評価	<p>< 状況 > 1日当たりの鉄道利用者数は3,961人であり、基準値と比較して291人増加しました。</p> <p>< 原因 > 各駅の利用者の内訳は、成東駅2,541人（前年比130人増）、日向駅687人（前年同様）、松尾駅733人（前年比23人減）という状況です。コロナ禍の影響も無くなり、成東駅の利用者数が増加したことが要因です。</p>						☀ (向上)
		対前年度	---	達成状況	☐ (低)		

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・防災・減災の取組には、「自助」が重要であり、市民一人ひとりの災害に対する意識や知識の向上を図ります。
- ・災害に備えるため、自主防災組織の活動を活性化させる支援を行い、地域防災力の強化を図ります。
- ・個別避難計画の作成に取り組み、避難の実効性確保を図ります。
- ・避難所の迅速な開設や適切な運営には、地域等による「共助」が不可欠なことから、避難所運営委員会の設立を推進し、地域住民同士が連携し、主体として避難所を開設・運営する体制を整えます。
- ・災害に強いまちづくりを図るため、災害時等の活動拠点、地域の避難場所として機能する防災拠点の再整備を推進していきます。
- ・地域防災力の強化には消防団員の確保が必要です。団員の消防技術の維持・向上のため、訓練に取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
災害・火災による死者数(人)	成果		2	☀ (向上)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	災害に対する備えの平均実施項目数(全14項目)(項目)	成果		4.9	☁ (横ばい)	---	
02	自主防災組織数(組織)	成果		92	☀ (横ばい)	---	
02	自主防災組織の訓練実施割合(%)	成果		21.7	☀ (向上)	---	
02	個別避難計画の作成割合 (個別計画策定対象者分)(%)	成果		2.4	☀ (横ばい)	---	
02	避難所運営委員会設置割合(%)	成果		4.1	☀ (横ばい)	---	
03	職員訓練(機能別、避難所開設・運営等)回数(回)	成果		4	☀ (横ばい)	---	
03	食糧・飲料・物品の備蓄率(%)	成果		88.3	☂ (低下)	---	
03	災害情報発信システム 防災施設の不具合件数(件)	成果		1	☀ (向上)	---	
04	国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間 累計)(事業)	成果		5	☀ (向上)	---	
05	火災の損害額(千円)	成果		68,008	☁ (横ばい)	---	
05	火災による死者数(人)	成果		2	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 03 災害に強い強靱なまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民 ・ 消防団 ・ 関係機関 ・ 行政 ・ 常備消防 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、地域、行政の防火・防災対策が推進され、被害が減少します。

施策の成果状況と評価

指標	災害・火災による死者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【消防防災課】	人	4		2	0
評価	<p>< 状況 > 令和 5 年度の災害・火災による死者数は、火災による 2 人で基準値と比較して 2 人減少しました。</p> <p>< 原因 > 市や各区・自治会、自主防災組織における防災訓練の実施、広報紙等での防災・減災に対する普及啓発の実施によって市民の防災意識の向上につながったことや、建物火災の件数が基準年と比較して減少したことが要因と考えられます。</p>						対前年度

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
 なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	防災意識・知識の向上
基本事業 02	地域防災力の向上
基本事業 03	災害対応力の向上
基本事業 04	強靱化対策の推進
基本事業 05	消防力の充実

基本事業01 防災意識・知識の向上

指標	災害に対する備えの平均実施項目数(全14項目)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【消防防災課】	項目	5.01		4.9	7	
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の災害に対する備えの平均実施項目数(全14項目)は4.90項目で基準値と比較して0.11項目減少しました。</p> <p>< 原因 > 災害に対する備えについて、市民への周知・啓発不足が要因と考えられます。</p>						対前年度
		---	達成状況				
							(低)

基本事業03 災害対応力の向上

指標	職員訓練(機能別、避難所開設・運営等)回数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【消防防災課】	回	3		4	5	
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の職員訓練(機能別、避難所開設・運営等)回数は4回で基準値と比較して1回増加しました。</p> <p>< 原因 > 市役所職員の防災意識を向上させることを目的に、大雨などによる浸水・土砂災害を想定した訓練を実施したことが要因です。(実施内訳: 職員訓練、災害対策本部開設・運営訓練、浸水・土砂災害避難訓練、シェイクアウト訓練)</p>						対前年度
		---	達成状況				
							(高)

基本事業04 強靱化対策の推進

指標	国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【消防防災課】	事業	0		5	9	
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間累計)は5事業で基準値と比較して5事業増加しました。</p> <p>< 原因 > 各事業において適切な進捗管理のもと事業実施が進められたことが要因です。(実施内訳: 防災行政無線整備事業、幼稚園施設整備事業、こども園施設整備事業、緑海239号線道路改良事業、上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業)</p>						対前年度
		---	達成状況				
							(中)

基本事業05 消防力の充実

指標	火災の損害額	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【消防防災課】	千円	64,650		68,008	0	
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の火災損害額は68,008千円で基準値と比較して3,358千円増加しました。</p> <p>< 原因 > 令和5年度において、建物火災の発生件数は減少しましたが、規模の大きい建物火災が1件発生したことが要因です。</p>						対前年度
		---	達成状況				
							(低)



【政 策】

2 住みやすい環境と安全なまちづくり

【施 策】

2-1 生活環境の充実

2-2 脱炭素・循環型社会の形成

2-3 上水道の充実

2-4 防犯・交通安全の推進

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・管理不良状態にある空き地については、管理者に対し、適切な行政指導を行うなど、生活環境の美化を推進します。
・美化運動を通じて、市民や事業者の生活環境に関する意識向上に取り組むとともに、快適な生活環境の維持に取り組んでいきます。
・産業廃棄物の不法投棄については、啓発活動、パトロールの強化により不法投棄の防止に取り組んでいきます。
・成田国際空港の機能強化に伴い、航空機による騒音への対策が必要となることから、成田国際空港株式会社や公益財団法人成田空港周辺地域共生財団などと連携しながら、防音工事等を実施し、生活環境の改善に取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合 (%)	成果		66.3	☁ (横ばい)	---	
生活環境に関する苦情件数 (件)	成果		231	☀ (向上)	---	
住宅内で航空機音を不快に感じる市民の割合 (%)	成果		76.3	☀ (向上)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	空地の管理 (雑草等) 苦情件数 (件)	成果		15	☀ (向上)	---	
01	その他生活公害苦情件数 (件)	成果		66	☂ (低下)	---	
02	産業廃棄物不法投棄件数 (件)	成果		38	☂ (低下)	---	
02	一般廃棄物等不法投棄件数 (件)	成果		112	☂ (低下)	---	
02	ごみゼロ運動参加者数 (人)	成果		9,091	---	---	
03	航空機騒音対策に対する満足度 (%)	成果		79.9	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 01 生活環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 快適に暮らせる生活環境が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【環境保全課】	%	66.6		66.3	70
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の快適な生活環境が整っていると思う市民の割合は66.3%で、基準値より0.3ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > アンケートの集計結果を分析すると、空き地の管理、不法投棄、野焼きが増加傾向となっており、生活環境に対して問題意識を持つ方が多くなっていることが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)
指標	生活環境に関する苦情件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【環境保全課】	件	242		231	234
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の生活環境に関する苦情件数は231件で、基準値より11件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 空き地の管理対象や指導内容を見直したことにより、継続して指導する件数が減少したことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)
指標	住宅内で航空機音を不快に感じる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【空港地域振興課】	%	81.7		76.3	75
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の航空機騒音を不快に感じる市民の割合は、76.3%で、基準値と比較して5.4ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 成田国際空港の発着する航空機の便数が増加しましたが、防音工事や、航空機の中・小型化や低騒音化が進んでいることが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■■■ (高)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生活公害の対策

基本事業 02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

基本事業 03 航空機騒音等の対策

基本事業01 生活公害の対策

指標	空地の管理（雑草等）苦情件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【環境保全課】	件	91		15	54
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の空地の管理（雑草等）苦情件数は15件で、基準値より76件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 指導対象や指導方法の見直しを行った結果、当事者間での問題解消が図られることなどにより、空地の適切な管理が普及したことが要因であると考えます。</p>						☀ (向上)

基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	産業廃棄物不法投棄件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【環境保全課】	件	7		38	4
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の産業廃棄物不法投棄件数は、38件で基準値と比較して31件増加しました。</p> <p>< 原因 > 増加している不法投棄物は、タイヤ、車部品で関係業者から排出されるゴミの可能性があることと、パトロールの徹底による発見も増加していることが要因と考えます。</p>						☔ (低下)

基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	一般廃棄物等不法投棄件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【環境保全課】	件	89		112	87
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の一般廃棄物等不法投棄件数は112件で、基準値より23件増加しました。</p> <p>< 原因 > シルバー人材センターへの不法投棄パトロール強化により、不法投棄発見が増加している要因です。</p>						☔ (低下)

基本事業03 航空機騒音等の対策

指標	航空機騒音対策に対する満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【空港地域振興課】	%	78.5		79.9	80
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の航空機騒音対策に対する満足度は79.9%で、基準値と比較して1.4ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 防音家屋冷暖房設置維持管理補助金の交付がスムーズに対応できたことが要因と考えられます。</p>						☀ (向上)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量を抑制していくことが求められています。家庭や事業所での効率的なエネルギーの利用を促進していくとともに、環境に配慮した省エネ機器の導入や再生可能エネルギーの利用促進に取り組んでいきます。

・家庭ごみの適正な分別の意識を高め、3Rを総合的に推進し、ごみの排出量の減量化に取り組んでいきます。

・2028年度からは、成東地域のごみ処理も山武郡市環境衛生組合で取り扱うことから、指定ごみ袋制度やごみの収集方法の一本化に向け調整を図ります。

・未処理の生活排水が適正に処理されるよう、単独処理浄化槽、くみ取り槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
山武市の温室効果ガス(CO ₂)排出量(tCO ₂)	成果		687千	☂ (低下)	---	
1人1日あたりのごみの排出量(g)	成果		758	☀ (向上)	---	
汚水処理人口普及率(%)	成果		67.7	☀ (向上)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	再生可能エネルギーの導入量(kw)	成果		107,333	☀ (向上)	---	
01	山武市役所における温室効果ガス(CO ₂ 等)排出量(tCO ₂)	成果		4,678	☂ (低下)	---	
01	木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量(t)	成果		2,349.1	☂ (低下)	---	
01	省エネへの生活様式平均実践項目数(項目)	成果		3.12	☀ (向上)	---	
02	家庭ごみ排出量(t)	成果		9,348	☀ (向上)	---	
02	再資源化率(%)	成果		21.3	☀ (向上)	---	
02	ルールを守らずに集積所に出されたごみ袋数(件)	成果		3,315	☀ (向上)	---	
02	1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)(円)	成果		11,024	☀ (横ばい)	---	
03	合併処理浄化槽設置基数(基)	成果		60	☀ (横ばい)	---	
03	農業集落排水供用戸数(戸)	成果		1,059	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 02 脱炭素・循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
	自然環境にやさしいまちにむけて、環境負荷の少ない生活を実践し、温室効果ガスや廃棄物、汚水の排出が抑制されています。

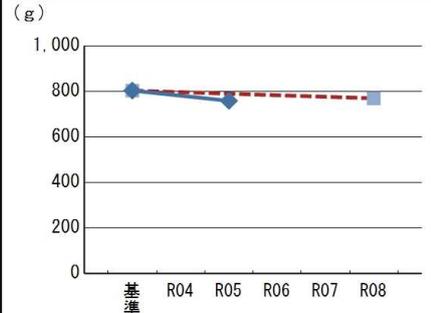
施策の成果状況と評価

指標	山武市の温室効果ガス（CO2）排出量	単位	基準値	実績値（R04）	実績値（R05）	めざそう値（R08）	対基準値
		【環境保全課】	tCO2	659千		687千	522千
評価	< 状況 > 令和5年度の山武市の温室効果ガス（CO2）排出量は687千tCO2で、基準値と比較して28千tCO2増加しました。 < 原因 > コロナ禍によって縮小した社会全体の活動が徐々に活発化したことが主たる要因と考えられます。						対前年度

							達成状況
							■■ (低)

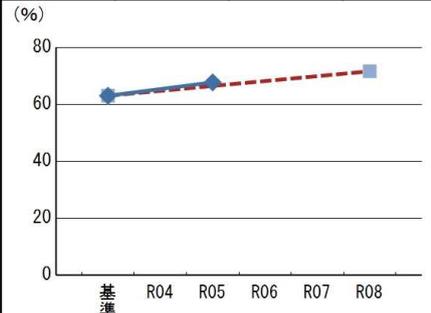
指標	1人1日あたりのごみの排出量	単位	基準値	実績値（R04）	実績値（R05）	めざそう値（R08）	対基準値
		【環境保全課】	g	803		758	769
評価	< 状況 > 令和5年度の1人1日あたりのごみの排出量は758gで、基準値より45g減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 市民のごみの減量化の意識向上により、ごみの減量化への取り組みがされていることが要因と考えられます。						対前年度

							達成状況
							☀ (達成)



指標	汚水処理人口普及率	単位	基準値	実績値（R04）	実績値（R05）	めざそう値（R08）	対基準値
		【環境保全課】	%	63		67.7	71.6
評価	< 状況 > 令和5年度の汚水処理人口普及率は67.7%で、基準値と比較して4.7ポイント増加しました。 < 原因 > 単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換補助金を交付していることや農業集落排水の供用戸数の増加が、主な要因と考えられます。						対前年度

							達成状況
							■■ (中)



見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
 なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域脱炭素化の推進

基本事業 02 3Rの推進とごみ処理の適正化

基本事業 03 汚水処理の推進

基本事業01 地域脱炭素化の推進

指標	山武市役所における温室効果ガス（CO2等）排出量	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		【環境保全課】	tCO2	4,274		4,678	3,573
評価	<p><状況> 令和5年度の山武市役所における温室効果ガス排出量は4,678t-CO2で、基準値と比較して404t-CO2増加しました。</p> <p><原因> コロナ禍によって縮小した市の事務事業が、徐々に活発化したことが要因と考えられます。</p>						☔ 対 前年度 --- 達成 状況 ■ ■ (低)

基本事業01 地域脱炭素化の推進

指標	省エネへの生活様式平均実践項目数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		【環境保全課】	項目	2.8		3.12	3.5
評価	<p><状況> 令和5年度の省エネへの生活様式平均実践項目数は3.12項目で、基準値と比較して0.32項目増加しました。</p> <p><原因> 電気代の高騰等による省エネへの関心の高まりと、市等の啓発により各種省エネ対策が浸透しつつあることが主な要因と考えられます。</p>						☀ 対 前年度 --- 達成 状況 ■ ■ (中)

基本事業02 3Rの推進とごみ処理の適正化

指標	家庭ごみ排出量	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		【環境保全課】	t	10,264		9,348	9,896
評価	<p><状況> 令和5年度の家庭ごみ排出量は9,348tで、基準値より916t減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p><原因> 家庭用生ごみ堆肥化装置補助金交付決定額が増加していることなどから、市民の意識向上によりごみの減量化となったことが要因と考えられます。</p>						☀ 対 前年度 --- 達成 状況 ☔ (達成)

基本事業03 汚水処理の推進

指標	合併処理浄化槽設置基数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		【環境保全課】	基	58		60	70
評価	<p><状況> 令和5年度の合併処理浄化槽設置基数は60基で、基準値と比較して2基増加しました。</p> <p><原因> 未処理の生活排水を排出していた世帯の汚水処理意識が向上したことにより、合併処理浄化槽への転換が進んだことが要因と考えられます。</p>						☀ 対 前年度 --- 達成 状況 ■ ■ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・水道管等の施設の老朽化に伴う更新期の到来や人口減少等に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しており、不断の経営健全化に取り組んでいきます。

・衛生的な水を安定的に供給するために、加入促進に取り組んでいきます。

・近年の大規模な自然災害や水質事故等の緊急時に迅速な対応が取れるよう、マニュアルの充実を図り、応急給水対策に取り組んでいきます。

・供給事業については、九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合に係る覚書を締結しており、協議検討を進めています。

・給水事業については、山武郡市広域水道企業団、山武市営水道、長生郡市広域市町村圏組合、八匠水道企業団の末端給水事業体による、統合・広域化の基本計画策定に向けて協議検討を進めています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
上水道普及率【市営水道】(%)	成果		56.5	☀ (向上)	---	
上水道普及率【広域水道】(%)	成果		81.6	☀ (横ばい)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	漏水事故件数【市営水道】(件)	成果		0	☀ (向上)	---	
01	漏水事故件数【広域水道】(件)	成果		33	☀ (向上)	---	
02	水質の苦情件数【市営水道】(件)	成果		0	☀ (向上)	---	
02	水質の苦情件数【広域水道】(件)	成果		0	☀ (向上)	---	
03	応急給水資機材の備蓄割合【市営水道】(%)	成果		100	☀ (向上)	---	
03	応急給水資機材の備蓄割合【広域水道】(%)	成果		100	☀ (向上)	---	
04	経常収支比率【市営水道】(%)	成果		102.9	☂ (低下)	---	
04	経常収支比率【広域水道】(%)	成果		102.3	☂ (低下)	---	
04	広域化に関する承認件数【市営水道】(件)	成果		0	☂ (低下)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 03 上水道の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 安全で安定した水道水を使う市民が増加しています。

施策の成果状況と評価

指標	上水道普及率【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【水道課】	%	53.3		56.5	57.5
評価	<p>< 状況 > 令和 5 年度の上水道普及率【市営水道】は56.5%で、基準値と比較して3.2ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 新築戸建や井戸ポンプ故障等により、水道利用者が増加した原因です。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■ (高)
指標	上水道普及率【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【環境保全課】	%	81.3		81.6	81.3
評価	<p>< 状況 > 令和 5 年度の上水道普及率【広域水道】は81.6%で、基準値と比較して0.3ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 給水区域内人口や給水人口は減少しているものの、単身者の増加や核家族化の進行、また区域内転入者の多くが上水道に加入していることが横ばいの要因であると考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■ (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 安定給水の確保

基本事業 02 水質の安全性の確保

基本事業 03 地震等の災害対策

基本事業 04 経営の健全化と広域化の推進

基本事業01 安定給水の確保

指標	漏水事故件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【水道課】	件	1		0	0
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の漏水事故件数【市営水道】は0件で、基準値と比較して1件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 漏水を未然に防止するため、水道管の洗浄及び配水量の監視等を適正に行い、維持管理に努めていることが要因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業02 水質の安全性の確保

指標	水質の苦情件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【水道課】	件	0		0	0
評価	<p>< 状況 > 水質の苦情件数【市営水道】は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 水質検査や水道管の洗浄等を適宜実施し、適正な水質基準を満たしていることが要因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業03 地震等の災害対策

指標	応急給水資機材の備蓄割合【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【水道課】	%	100		100	100
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の応急給水資機材の備蓄割合【市営水道】は100%で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 応急給水資機材(給水袋3,000袋)を備蓄していることが要因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業04 経営の健全化と広域化の推進

指標	広域化に関する承認件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【水道課】	件	1		0	1
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の広域化に関する承認件数は0件で、基準値と比較して減少しました。</p> <p>< 原因 > 九十九里地域末端給水事業体と構成市町村との覚書締結を1年延期し、令和6年度の予定としたことが要因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏠 (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・ 刑法犯認知件数のうち約83.5%は窃盗犯であり、その多くは金属窃盗等の非侵入盗であることから、ドライブレコーダーを搭載した青色パトロールカーを活用した防犯活動を推進します。
- ・ 消費生活センター等の相談体制を確保することにより、電話de詐欺といった特殊詐欺をはじめとする消費者トラブルの防止に努めます。
- ・ 令和4年に道路交通法が改正され、安全運転管理者による運転者の酒気帯び確認が義務化されました。
- ・ 交通安全計画に基づき施策を展開します。高齢者、幼児、児童・生徒及びドライバー等の対象者に応じた交通安全施策に取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人口1,000人当たりの刑法犯認知件数 (件)	社会		7	☂ (低下)	---	
人口1,000人当たりの交通事故発生件数 (件)	成果		2.8	☂ (低下)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数 (団体)	成果		32	☀ (向上)	---	
01	防犯活動を行っている協力者数 (人)	成果		369	☂ (低下)	---	
02	登下校時における児童・生徒の事件・事故件数 (件)	成果		7	☂ (低下)	---	
03	防犯灯新設・移設・修繕・撤去箇所数 (計画期間累計) (箇所)	成果		128	☀ (向上)	---	
04	消費者トラブルにあった市民の割合 (%)	成果		4.8	☀ (横ばい)	---	
05	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数 (回)	成果		4	☂ (低下)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 04 防犯・交通安全の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 安全で安心して住めるまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標	人口1,000人当たりの刑法犯認知件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	件	5		7	5
評価	< 状況 > 令和5年度の人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は7件で、基準値と比較して2件増加しました。 < 原因 > 令和5年度から山武市内で金属盗難事件が多発していることが原因です。		(件) 				対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

指標	人口1,000人当たりの交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	件	2.3		2.8	2.3
評価	< 状況 > 令和5年度の人口1,000人当たりの交通事故発生件数は2.8件で、基準値と比較して0.5件増加しました。 < 原因 > 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、人流が活発化したことが原因と考えられます。		(件) 				対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	防犯体制の充実
基本事業 02	児童・生徒の安全確保
基本事業 03	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理
基本事業 04	消費者トラブルの防止
基本事業 05	交通安全意識の向上

基本事業01 防犯体制の充実

指標	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	団体	28		32	28	☀️ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の防犯活動を行っている区・自治会や団体の数は32団体で、基準値と比較して4団体増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 防犯協会等による防犯パトロールや市広報紙「広報さんむ」などを活用した広報啓発活動により、各地域の防犯意識が向上していることが原因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業02 児童・生徒の安全確保

指標	登下校時における児童・生徒の事件・事故件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	件	5		7	-	☔️ (低下)
評価	<p>< 状況 > 登下校時における児童生徒の事件・事故件数は7件でした。すべて交通事故であり、小学生3件、中学生4件です。基準値と比較して2件増加しています。</p> <p>< 原因 > 4件は、児童生徒の飛び出しによるものです。道路を横断するときの左右の確認が不十分であったことが原因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🚫 (低)

基本事業04 消費者トラブルの防止

指標	消費者トラブルにあった市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	%	5.3		4.8	4.4	☀️ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の消費者トラブルにあった市民の割合は4.8%で、基準値と比較して0.5ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 消費者トラブル防止に向けた消費生活相談員による講座の実施、トラブルにあったケース等の例示ポスターの掲示及び各種啓発物資の配布による注意喚起によりトラブルを回避する知識が広まったことが要因と考えます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🚫 (中)

基本事業05 交通安全意識の向上

指標	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	回	5		4	3	☔️ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の1ヶ月当たりの交通安全啓発回数は4回で、基準値と比較して1回減少しましたが、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 八街市の交通死亡事故を受けた緊急の街頭監視が無くなりましたが、平常どおりの啓発活動が実施できたことが原因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)



【政 策】

3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

【施 策】

3-1 農林水産業の振興

3-2 商工業の振興と地域経済活性化

3-3 観光の振興

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・地域農業の中心的担い手の育成と確保のため、認定農業者の拡充及び新規就農者への支援に努めるとともに、効率的農業の推進や補助事業等の積極的活用によるコスト削減を図り、農業所得の向上を目指します。
- ・農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化、耕作放棄地の解消及び農地基盤整備事業を促進し、計画的な土地利用と優良農地の確保に努め、生産性の向上を図ります。
- ・地球温暖化防止に向けた脱炭素社会の実現、生物多様性の保全や有機農業の推進、農地・農村・森林の持つ多面的機能の維持、食料の安定供給等といった「SDGs」や地球環境に配慮した農林業を推進していきます。
- ・山武市森林づくり審議会において、森林管理の在り方及び森林環境譲与税の活用について検討し、市民に広く恩恵のある森林づくりを推進していきます。
- ・森林整備及び木材利活用を推進していくことにより、地域産材である「サンブスギ」を保全し、そのブランド力の強化を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
農業所得(百万円)	成果		604	☂ (低下)	---	
森林整備年間実施面積(計画期間累計)(ha)	成果		360.67	☀ (横ばい)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	耕地面積(水田、畑)(ha)	成果		5,580	☂ (低下)	---	
01	家畜伝染病発生件数(酪農、養豚、養鶏)(件)	成果		0	☀ (向上)	---	
02	農用地利用集積率(%)	成果		33.3	☀ (横ばい)	---	
02	新規就農者数(計画期間累計)(人)	成果		5	☀ (向上)	---	
03	ふるさと納税の返礼品に農林水産物が選択された件数(件)	成果		2,076	☀ (向上)	---	
03	オライはすめまの農林水産物の販売額(千円)	成果		134,907	☀ (横ばい)	---	
04	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数(箇所)	成果		5	☁ (横ばい)	---	
05	森林整備事業年間実施箇所数(箇所)	成果		39	☀ (向上)	---	
05	市補助制度を活用し、搬出された木材量(t)	成果		3,486	☂ (低下)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 01 農林水産業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 農林水産業従事者	・ 農業経営が安定し、所得額が増えます。 ・ 荒廃した森林が再生します。

施策の成果状況と評価

指標	農業所得	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【農政課】	百万円	668		604	1,264
評価	< 状況 > 令和5年度の農業所得は604百万円で、基準値と比較して64百万円減少しました。 < 原因 > 肥料、燃料等の価格高騰により、経費が増加したことが主な要因であると考えられます。		(百万円) 				対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

指標	森林整備年間実施面積 (計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【農政課】	ha	329.07		360.67	481.32
評価	< 状況 > 令和5年度の森林整備年間実施面積 (累計) は360.67haで、基準値と比較して31.6ha増加しました。 < 原因 > 令和5年度からは森林環境譲与税を活用した森林環境整備推進事業を開始したことにより森林整備面積が増加した要因と考えます。		(ha) 				対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	経営の安定化の推進
基本事業 02	担い手の育成・支援
基本事業 03	市内農林水産物の知名度向上と消費拡大
基本事業 04	農業基盤整備の推進
基本事業 05	森林再生の推進

基本事業01 経営の安定化の推進

指標	家畜伝染病発生件数（酪農、養豚、養鶏）	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【農政課】	件	0		0	0	☀️ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の家畜伝染病発生件数は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 各畜産農家が東部家畜保健衛生所等関係機関と連携協力のもと、法定伝染病の発生予防に努めたことが要因であると考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業02 担い手の育成・支援

指標	農用地利用集積率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【農政課】	%	31.2		33.3	51	☀️ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の農用地利用集積率は33.3%で、基準値と比較して2.1ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 営農の効率化を図るため農地の集積が進んだことにより、農用地利用集積率が増加したものと考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業03 市内農林水産物の知名度向上と消費拡大

指標	オライはすぬまの農林水産物の販売額	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【農政課】	千円	126,669		134,907	161,665	☀️ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度のオライはすぬまの農林水産物の販売額は134,907千円で、基準値と比較して8,238千円増加しました。</p> <p>< 原因 > 観光客の増加に伴い、農林水産物の販売額が増加したものと考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業05 森林再生の推進

指標	森林整備事業年間実施箇所数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【農政課】	箇所	20		39	30	☀️ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の森林整備事業年間実施箇所数は39箇所、基準値と比較して19箇所増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 令和5年度から森林環境譲与税を活用し、森林整備を実施する事業者等に対して補助金を交付する事業を開始したことにより実施箇所数が増加した要因と考えます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・郊外型の大・中規模小売店舗等が進出し、既存小売店に大きな影響を及ぼすとともに、後継者不足も相まって、旧来の商店街では空き店舗が多数発生しています。地域の魅力を高める取組を通じて、商店街の連携強化と地域活性化を図ることが求められています。

・山武市中小企業振興基本条例（平成30年4月1日施行）に基づき、地元中小企業の育成と長期的な安定成長を図るための施策を推進します。

・市商工会を通じた施策等を継続的に行うとともに、人口減少や急激な社会環境の変化に対応できる、レジリエンスな地域経済の実現に向けた「エコノミックガーデニング」の推進により、地元企業が長生きして繁栄するビジネス環境の構築に取り組みます。

・成田空港の機能強化に伴う雇用の増加が見込まれることから、企業誘致の促進や市内小中学生への成田空港関連企業への興味・関心を高める事業を実施し、成田空港を核とした経済圏の形成に取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数) (%)	社会		40.2	☂ (低下)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内で日用品や食料品を買う市民の割合 (%)	成果		66.8	☀ (横ばい)	---	
01	新規法人登録件数(計画期間累計)(件)	社会		125	☀ (向上)	---	
01	法人市民税の増加事業所割合 (%)	成果		32	☀ (向上)	---	
02	市内工業団地の従業者数 (人)	成果		1,773	☀ (横ばい)	---	
02	従業員一人当たりの製造品出荷額 (千円)	成果		59,230	☀ (向上)	---	
03	成田空港周辺自治体としての取組件数 (件)	代替		5	☀ (横ばい)	---	
03	成田空港内で働く市内従業員数 (人)	社会		478(R4)	☂ (低下)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 02 商工業の振興と地域経済活性化

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・事業者	・経営力があり、継続的に事業が推進されるとともに、雇用が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値														
		【商工観光課】	%	43.5		40.2	44	☔ (低下)													
評価	<p><状況> 令和5年度の黒字化している事業者割合(法人税を納めている事業者数)は40.2%であり、基準値と比較して3.3ポイント減少しました。</p> <p><原因> 人口減少等に伴う市場シェアの争奪戦が激化していること、人材確保が困難になってきていること、人件費、原材料費、エネルギーコストなどが上昇しているが、競争力維持や効率化のため、価格転嫁ができずに利益率が低下していることなどが、主要因と考えられます。</p>			<table border="1"> <caption>実績値とめざそう値の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>43.5</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>40.2</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>40.2</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>			項目	値 (%)	基準	43.5	R04	40.2	R05	40.2	R06	-	R07	-	R08	44	対前年度
	項目	値 (%)																			
基準	43.5																				
R04	40.2																				
R05	40.2																				
R06	-																				
R07	-																				
R08	44																				

							達成状況														
							■■■ (低)														

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

基本事業 02 工業の振興

基本事業 03 成田空港経済圏の形成

基本事業01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

指標	市内で日用品や食料品を買う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	%	66.4		66.8	67
評価	<p><状況> 令和5年度の市内で日用品や食料品を買う市民の割合は66.8%であり、基準値と比較して0.4ポイント増加しました。</p> <p><原因> 「地域応援！！山武市お買い物割引クーポン券」の配付により、市内での買い物の促進に繋がったことが要因と考えます。</p>						☀️ (対前年度)

							■ (高)

基本事業01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

指標	新規法人登録件数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	件	0		125	360
評価	<p><状況> 令和5年度の新規法人登録件数は125件で、めざそう値(計画期間累計件数)の34.7%に達しています。めざそう値の年平均(90件/年)と比較すると138%に達しています。</p> <p><原因> 新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことによる事業開拓や、外国人が経営する法人の増加が要因と考えます。</p>						☀️ (対前年度)

							■ (低)

基本事業02 工業の振興

指標	従業員一人当たりの製造品出荷額	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	千円	54,366		59,230	54,761
評価	<p>(令和4年度)</p> <p><状況> 令和5年度の従業員一人当たりの製造品出荷額は、59,230千円であり、基準値(令和4年度)と比較して、4,864千円増加しました。</p> <p><原因> 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、全国的な経済活動の回復が見られ、製造品の需要が増加したことで生産性向上のための設備投資等をしたことが、要因と考えます。</p>						☀️ (対前年度)

							☀️ (達成)

基本事業03 成田空港経済圏の形成

指標	成田空港周辺自治体としての取組件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	件	5		5	7
評価	<p><状況> 令和5年度の成田空港周辺自治体としての取組件数は5件であり、基準値と同値となりました。</p> <p><原因> 令和5年度から計画どおり「UIターンによる起業・就業者等創出事業」を開始したことが要因です。</p>						☀️ (対前年度)

							■ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響がほとんどなくなったことで、これまで中止されていた大型イベントが再び開催されるようになりました。
- ・近年の観光のトレンドは、家族や友人と楽しめる体験型観光が好まれているため、魅力あるイベントの開催、体験型観光コンテンツを充実させることで、市内への観光客の増加を図ります。
- ・本須賀海水浴場は2019年に国際環境認証ブルーフラッグを県内で唯一取得し、その後も継続して取得しています。地域住民と行政が一体となり「海の豊かさを守ろう」という目標に向かって海岸環境美化活動に取り組むとともに、適切な施設管理を行い、安心して安全な海水浴が楽しめる環境づくりに努めます。また、サーフィンやマリンスポーツ、スポーツイベント等の開催を支援し、夏季以外の利用を促進します。
- ・NPO法人山武市観光協会HPやインスタグラム等のSNSを活用し、多くの世代層に向けた観光情報の発信を行います。また、成東駅前の観光案内所でのサービス内容を充実させ、機能強化を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
年間観光客入込数(人)	成果		1,747,115	☀ (向上)	---	
年間宿泊観光客数(人)	成果		56,249	☀ (向上)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	主要施設の年間来客者数(オライはすぬま、さんぶの森公園、蓮沼海浜公園)(人)	成果		1,265,785	☀ (向上)	---	
01	広域(県)民間事業者との連携事業数(件)	成果		14	☀ (向上)	---	
01	体験型観光利用者数(人)	成果		574,414	☀ (向上)	---	
02	観光施設(海水浴場)の利用者数(人)	成果		58,303	☂ (低下)	---	
02	海岸を利用した撮影及び活動件数(件)	成果		93	☀ (横ばい)	---	
03	観光案内所利用件数(件)	成果		7,883	☀ (横ばい)	---	
03	SNSフォロワー数(人)	成果		1,962	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 03 観光の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・観光客	・多くの観光客が市内に宿泊し、観光施設を訪れます。

施策の成果状況と評価

指標	年間観光客入込数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	人	1,507,284		1,747,115	2,081,000
評価	< 状況 > 令和5年の年間観光客入込数は1,747,115人で基準値と比較して239,831人増加しました。 < 原因 > 市内の観光施設の入込数は、新型コロナウイルス感染症の影響からは回復しているといえます。主な理由は、旅行需要の回復、人流の活発化等が挙げられます。		(人) 				対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

指標	年間宿泊観光客数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	人	44,988		56,249	82,800
評価	< 状況 > 令和5年の年間宿泊観光客数は、56,249人で、基準値と比較して11,261人増加しました。 < 原因 > コロナ明けに伴う旅行制限の解除、感染防止策の徹底により、旅行需要が回復し、観光客数が増加しました。またイベントの復活、観光キャンペーンの実施が相まって、市内の年間宿泊観光客数が増加したと考えられます。		(人) 				対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 魅力ある観光事業の推進

基本事業 02 海岸を活用した観光推進

基本事業 03 観光情報の発信

基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	主要施設の年間来客者数（オライはすめま、さんぶの森公園、蓮沼海浜公園）	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	人	1,156,972		1,265,785	1,450,000
評価	<p>< 状況 > 令和5年の年間来客数は、1,265,785人で、基準値と比較して108,813人増加しました。</p> <p>< 原因 > 新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり回復しています。国による動向調査によると、旅行の交通手段の構成比では自動車が拡大しており、近郊への旅行者が増加している傾向があることから、屋外施設への来客者は、順調に増加しているといえます。</p>						☀️ (向上) 対前年度 --- 達成状況 ■■ (低)

基本事業01 魅力ある観光事業の推進

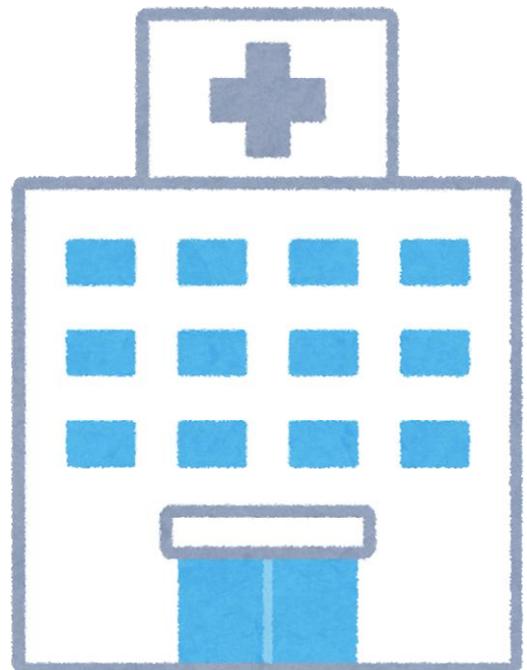
指標	広域(県)、民間事業者との連携事業数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	件	3		14	18
評価	<p>< 状況 > 令和5年の広域(県)、民間事業者との連携事業数は14件で、基準値と比較して11件増加しました。</p> <p>< 原因 > 新型コロナウイルス感染症の影響がほとんどなくなり、観光客数の回復を図ることを目的として広域の連携によるイベントが増えています。市でも県や民間事業者のイベントに積極的に参加したことが主な要因です。</p>						☀️ (向上) 対前年度 --- 達成状況 ■■■ (高)

基本事業02 海岸を活用した観光推進

指標	観光施設(海水浴場)の利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	人	69,000		58,303	70,000
評価	<p>< 状況 > 令和5年の観光施設(海水浴場)の利用者数は58,303人で、コロナ前の基準値と比較して10,697人減少しました。</p> <p>< 原因 > 海水浴場の利用者数は、全国的な減少傾向にあり、本市においては、平成23年以降大きく減少しているところ。各種調査から、レジャーの多様化、近年の猛暑による夏場の外出控えなどが主な要因として考えられます。</p>						☔️ (低下) 対前年度 --- 達成状況 ■■ (低)

基本事業03 観光情報の発信

指標	観光案内所利用件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	件	7,018		7,883	10,000
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の観光案内所利用件数は、7,883件で、基準値と比較して865件増加しました。</p> <p>< 原因 > 新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、観光需要が回復しているため、訪れる利用者が増加しておりますが、更なる増加を図るため、SNS等を活用し、周知を強化していきます。</p>						☀️ (横ばい) 対前年度 --- 達成状況 ■■ (低)



【政 策】

4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

【施 策】

4-1 高齢者福祉の充実

4-2 障がい者(児)福祉の充実

4-3 健康づくりの推進

4-4 子育ての支援

4-5 地域福祉の充実とセーフティーネットの推進

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・いわゆる団塊の世代（昭和22年から24年生まれ）が75歳以上になる令和7年には、人口に占める65歳以上の高齢者の割合（高齢化率）が39.5%に達し、その後も引き続き上昇が見込まれています。
- ・高齢者が社会参加し、生きがいを持ち、健康で安心して生活が送れるよう大学や関係団体等と連携した介護予防対策を推進していきます。
- ・高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができるよう、医療と介護の連携、介護予防、権利擁護など高齢者を地域全体で支える体制づくり（地域包括ケアシステム）をさらに推進していきます。
- ・認知症に対する理解を広め、認知症の方やその家族の視点を意識しながら、認知症になっても希望をもって生活できる地域づくりに取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合 (%)	成果		95.7	☂ (低下)	---	
介護保険サービスの満足度 (%)	成果		77.4	☂ (低下)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	社会参加している高齢者の割合 (%)	成果		47.3	☀ (向上)	---	
01	生きがいを持っている高齢者の割合 (%)	成果		43.8	☀ (横ばい)	---	
01	要支援 要介護認定者の新規該当者の平均年齢 (歳)	成果		81.7	☀ (向上)	---	
02	支えあいや仕組みで見守られている高齢者数 (のべ) (人)	成果		382	☁ (横ばい)	---	
03	相談先がある高齢者の割合 (%)	成果		78.5	☀ (横ばい)	---	
03	認知症サポーター養成講座受講者数 (人)	成果		121	☀ (向上)	---	
04	在宅で生活している要介護認定者の割合 (%)	成果		62.5	☀ (横ばい)	---	
04	施設入所待機率 (%)	成果		5.2	☀ (向上)	---	
04	受給者 1人あたり給付月額 (在宅、居住系サービス)の千葉県平均に対する割合 (%)	成果		96.1	☀ (向上)	---	
05	高齢者の人権が損なわれた件数 (虐待 権利の相談件数) (件)	成果		330	☂ (低下)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 01 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の市民（高齢者） ・介護保険被保険者（40歳以上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康を保ちながら生活でき、自分の健康状態にあった福祉サービスが受けられ、地域生活を送れます。

施策の成果状況と評価

指標	介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合 【高齢者支援課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		%	96.1		95.7	97	傘 (低下)
評価	< 状況 > 令和5年度の介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合は、95.7%で、基準値と比較して0.4ポイント減少しました。 < 原因 > 65歳以上、75歳未満の年齢層の平均年齢が上昇した結果、生活支援が必要となる者が増加し、認定率が高まったことが要因と考えられます。 (R3: 69.60歳 R5: 69.71歳)					対前年度	
		---	達成状況				
							■ ■ ■ (低)

指標	介護保険サービスの満足度 【高齢者支援課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		%	80.9		77.4	83	傘 (低下)
評価	< 状況 > 令和5年度の介護保険サービスの満足度は77.4%で、基準値と比較して3.5ポイント減少しました。 < 原因 > 介護保険制度やサービスについて、周知を行ってきましたが、制度が複雑であることや、介護度により利用できないサービスがあり、利用上限についても限度がある事が、基準値に届かない原因と考えられます。					対前年度	
		---	達成状況				
							■ ■ ■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	生きがいづくりと介護予防の推進
基本事業 02	暮らしを支えるサービスの充実
基本事業 03	支えあいの仕組みづくりの促進
基本事業 04	介護保険サービスの推進と適正運営
基本事業 05	高齢者の人権尊重

基本事業01 生きがいづくりと介護予防の推進

指標	生きがいを持っている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	43.2		43.8	50	☀ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の生きがいを持っている高齢者の割合は43.8%で、基準値と比較して0.6ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 令和5年度については集い・通い・交流の場をはじめ、コロナ禍前の活動が再開されたことから、僅かながら数値が改善したものと考えられます。なお、生きがいを感じることは、前計画期間の傾向と同じく「趣味・娯楽」「仕事・就職等」が高い割合を占めていますが、全体の傾向としては有意な変化は見られませんでした。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業03 支えあいの仕組みづくりの促進

指標	相談先がある高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	78.3		78.5	80	☀ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の相談先がある高齢者の割合は78.5%で、基準値と比較して0.2ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 相談先の割合として友人・知人・隣近所が増加しており、コロナ禍で自粛傾向であった集いの場や地域の活動等が再開したことが要因と考えます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業03 支えあいの仕組みづくりの促進

指標	認知症サポーター養成講座受講者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	人	91		121	100	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の認知症サポーター養成講座受講者数は121人で、基準値と比較して30人増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 認知症普及啓発事業である映画会の会場で講座の周知活動を行ったこと、各地域で講座を開催したこと等が要因と考えます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業04 介護保険サービスの推進と適正運営

指標	施設入所待機率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	8		5.2	5	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の施設入所待機率は5.2%で、基準値と比較して2.8ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 令和3年度から4年度にかけて近隣市町に特別養護老人ホームが3施設240床開設されて施設入所が進んだことが要因と考えられます。(令和6年1月末現在 特養待機者115名)</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (高)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・障がい者が自ら望む地域生活を営む事ができるよう、生活と就労に関する支援の一層の充実を図るとともに、発達支援が必要な児童のニーズにきめ細かく対応するための支援が求められています。

・専門機関や関係機関と連携し、障がいのある人の高齢化・重度化や親亡き後を見据えた居住支援体制の整備、地域包括ケアシステムの構築及び相談体制の充実が求められています。

・法改正の動向、社会情勢の変化を踏まえつつ、障がいのある方の置かれた環境や障がいの特性に応じて、地域で安心して社会参加し自立できるよう支援の充実が求められています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合(分母から重度障がい者を除く)(%)	成果		1.91	☀ (横ばい)	---	
在宅で生活している障がい者の割合(%)	代替		97.2	☀ (横ばい)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	自立支援給付サービスの実利用者数(人)	代替		542	☀ (横ばい)	---	
02	地域生活支援サービス利用者数(のべ)(人)	代替		427	☀ (向上)	---	
03	障がい児通所支援の利用者数(人)	成果		225	☀ (横ばい)	---	
03	切れ目のない支援のため発達について対応を検討した子どもの割合(%)	代替		88.8	☁ (横ばい)	---	
04	障がい者(児)の権利が損なわれている件数(虐待 権利)(件)	成果		3	☁ (横ばい)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 02 障がい者（児）福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・障がい者等	・障がい者（児）がその障がいの特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し、社会参加できます。

施策の成果状況と評価

指標	障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【社会福祉課】	%	1.88		1.91	2.3
評価	<p><状況> 令和5年度の就業している障がい者の割合は1.91%で 基準値より0.03ポイント増加しました。</p> <p><原因> 全ての事業主は、従業員の一定割合以上の障がい者を雇用することが義務付けられており、今後も引き上げが予定されている障害者雇用率に対応していくため、企業での障害者雇用が進んだことが要因と考えられます。</p>					対前年度 --- 達成状況 ■ (低)	

指標	在宅で生活している障がい者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【社会福祉課】	%	97.2		97.2	97.4
評価	<p><状況> 令和5年度の在宅で生活している障がい者の割合は97.2%で基準値と同値でした。</p> <p><原因> 障がい者の利用ニーズの把握や居宅介護サービス等の利用促進に努めているため、同値で維持している要因と考えられます。</p>					対前年度 --- 達成状況 ■ (中)	

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 自立支援サービスの促進

基本事業 02 地域生活支援の促進

基本事業 03 発達が気になる子への支援

基本事業 04 障がいのある人の人権尊重

基本事業01 自立支援サービスの促進

指標	自立支援給付サービスの実利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【社会福祉課】	人	542		542	697
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の自立支援給付サービスの利用者数は542人であり、基準値と同人数で、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 各手帳交付や窓口相談の際に、自立支援給付サービスの説明を行い、周知を努めたことにより、維持している要因と考えられます。</p>						☀️ (横ばい)
		<p>対前年度</p> <p>---</p> <p>達成状況</p> <p>🏰 (達成)</p>					

基本事業02 地域生活支援の促進

指標	地域生活支援サービス利用者数 (のべ)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【社会福祉課】	人	201		427	376
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の地域生活支援サービス利用者数は427人であり、基準値より226人増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 令和4年度に設置された基幹相談支援センターが認知されてきたことにより、相談件数が増えたことや、障がい者のしおりを活用し、周知に努めたことにより増加した要因と考えられます。</p>						☀️ (向上)
		<p>対前年度</p> <p>---</p> <p>達成状況</p> <p>🏰 (達成)</p>					

基本事業03 発達が気になる子への支援

指標	障がい児通所支援の利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【社会福祉課】	人	193		225	308
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の障がい児通所支援の利用者数は、児童発達支援56人、放課後等デイサービス169人、合計225人であり、基準値と比較して32人増加しました。</p> <p>< 原因 > 各手帳交付時における障がい児通所支援の説明や障がい児支援を切れ目なく行うため、関係部署と相互支援を行ったことにより増加に繋がった要因と考えられます。</p>						☀️ (横ばい)
		<p>対前年度</p> <p>---</p> <p>達成状況</p> <p>■ (中)</p>					

基本事業04 障がいのある人の人権尊重

指標	障がい者(児)の権利が損なわれている件数 (虐待・権利)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【社会福祉課】	件	2		3	-
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の障がい者(児)の権利が損なわれている件数(虐待・権利)において、虐待通報件数は3件、差別相談件数は0件であり、基準値と比較して1件増加しました。</p> <p>< 原因 > 通報は3件で1件増加しましたが、通報者は当事者ではなく支援者からのものであり、虐待に対する意識の向上により通報回数が増えた要因と考えられます。</p>						☹️ (横ばい)
		<p>対前年度</p> <p>---</p> <p>達成状況</p> <p>---</p>					

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・がん、心臓病、脳卒中は、市における死因の51.0%（令和4年度）を占めています。その原因となる可能性が高い生活習慣病の発症予防や重症化予防対策を強化していきます。
- ・市内の自殺率は24.44（令和5年度）で、引き続き、関係部署と連携し、個別支援に取り組んでいきます。
- ・妊産婦や乳幼児の健康の保持・増進のため、健診や相談支援の充実と切れ目ない支援に取り組んでいきます。
- ・子どものむし歯保有者率は、年々減少傾向ですが、県平均より高い状況にあるため、対策の充実を図ります。
- ・予防接種法に基づき、感染症のまん延防止や重症化予防を図ります。
- ・医療・保健・介護を健診から在宅まで三位一体で切れ目なく地域住民に提供し、安心して暮らすことができる環境の整備を実施します。
- ・国民健康保険及び後期高齢者医療制度の一人当たり総医療費が増加しています。急激な医療費増加を抑えるため、特定健康診査等受診率の向上及び生活習慣病の発症予防や重症化予防に対する対策に取り組めます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)()	成果		2.41	☂ (低下)	---	
生活習慣病死亡率(%)	成果		51	☀ (向上)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)(項目)	成果		3.6	☂ (低下)	---	
01	人口10万人当たり自殺率()	成果		24.44	☂ (低下)	---	
02	特定健康診査受診率(%)	成果		42.1	☀ (向上)	---	
02	後期高齢者健康診査受診率(%)	成果		28	☀ (向上)	---	
02	がん検診を年1回受けている市民の割合(%)	成果		40.5	☂ (低下)	---	
02	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(%)	成果		32.4	☀ (横ばい)	---	
03	乳幼児健診の受診率(%)	成果		92	☂ (低下)	---	
03	乳児面接実施率(%)	成果		99.4	☂ (低下)	---	
04	幼児(3歳)のむし歯保有者率(%)	成果		10.6	☀ (向上)	---	
04	小学生のむし歯保有者率(%)	成果		41.6	☀ (横ばい)	---	
05	麻しん・風しん混合(MR)予防接種率(%)	成果		91.5	☂ (低下)	---	
05	新型コロナウイルスワクチン接種率(%)	成果		0.4	☂ (低下)	---	
06	かかりつけ医を持っている市民割合(%)	成果		64.9	☁ (横ばい)	---	
06	休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合(%)	成果		63.5	☁ (横ばい)	---	
07	1人当たりの国民健康保険総医療費(円)	社会		378,784	☁ (横ばい)	---	
07	1人当たりの後期高齢者医療制度総医療費(円)	社会		788,869	☁ (横ばい)	---	
07	特定疾病療養受療証新規交付数(人)	成果		10	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 03 健康づくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

施策の成果状況と評価

指標	人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【健康支援課】		2.06		2.41	1.97
評価	<p>< 状況 > 人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)は2.41で、基準値と比較して0.35ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 死因のうち、「神経系疾患(その他)」の死亡者数が増加したことが要因です。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ☐☐☐ (低)

指標	生活習慣病死亡率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【健康支援課】	%	55.5		51	55.5
評価	<p>< 状況 > 生活習慣病死亡率は51.0%で、基準値と比較して4.5ポイント減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > がんによる死亡率が減少しており、コロナ禍で受診者が減少していたがん検診の受診者が増加したことが要因であると考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ☑ (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	心身の健康管理の充実
基本事業 02	健診の受診率向上と生活習慣の改善
基本事業 03	母子の健康管理
基本事業 04	子どものむし歯対策の推進
基本事業 05	感染症等対策の推進
基本事業 06	医療体制の充実
基本事業 07	健康保険制度の安定的な運営

基本事業01 心身の健康管理の充実

指標	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	項目	3.92		3.6	4	☔ (低下)
評価	<p><状況> 令和5年度の1人当たりの健康づくり取組項目数は3.60項目で、基準値と比較して0.32項目減少しました。</p> <p><原因> 30・40歳代の1人当たりの健康づくり取組項目数の減少率が高く、育児や仕事が忙しく健康に対する関心が低いことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	がん検診を年1回受けている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	41.1		40.5	50.3	☔ (低下)
評価	<p><状況> 令和5年度のがん検診を年1回受けている市民の割合は40.5%で、基準値と比較して0.6ポイント減少しました。</p> <p><原因> 前年度受診者に案内通知を行わなかったことが減少した要因となっていると考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業04 子どものむし歯対策の推進

指標	幼児(3歳)のむし歯保有者率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	16.5		10.6	14	☀ (向上)
評価	<p><状況> 令和5年度の幼児(3歳)のむし歯保有者率は10.6%で、基準値と比較して5.9ポイント減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p><原因> 幼児の出生時から継続的に歯科健診やむし歯予防の啓発、個々への相談・指導を行っていることが、むし歯保有者率減少の原因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ☑ (達成)

基本事業06 医療体制の充実

指標	休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	65.8		63.5	67.8	☁ (横ばい)
評価	<p><状況> 令和5年度の休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合は、63.5%で、基準値と比較して2.3ポイント減少しました。</p> <p><原因> 市民への周知や広報啓発が若干不足していることが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・共働きやひとり親家庭の増加等、家庭の状況が変化し、3歳未満児の保育や、長時間保育の需要が高まっています。
- ・子育て支援センターで、育児等の相談を受け、子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援します。
- ・妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援の充実に取り組んでいきます。
- ・子育てにおける経済的負担の軽減はニーズが高く、市では、引き続き高校生までの医療費を助成し、保護者の経済的な負担軽減を図ります。
- ・学童クラブにおける利用ニーズの多様化に対応できる支援員の人材育成が課題となります。また、学童クラブと放課後子ども教室との総合的な放課後対策が課題となります。
- ・結婚を希望する人を応援し、子ども・子育てにやさしい地域社会づくりに取り組み、若い世代が将来にわたる展望を描ける環境づくりを推進していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合(%)	成果		89.2	☁ (横ばい)	---	
この地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合(%)	成果		89	☁ (横ばい)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	幼稚園 保育所・こども園の利用定員充足率(%)	成果		77.7	☁ (横ばい)	---	
01	就学前保育 教育に関する保護者の満足度(%)	成果		96.3	☁ (横ばい)	---	
01	一時保育 特別保育ニーズに対応できなかった件数(件)	成果		14	☔ (低下)	---	
02	学童クラブの待機児童数(人)	成果		6	☔ (低下)	---	
03	育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合(%)	成果		90	☀ (向上)	---	
03	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合(%)	成果		90.2	☀ (向上)	---	
03	各種子育て相談延べ件数(件)	代替		6,784	☀ (向上)	---	
04	子育ての経済的負担軽減受給額(子育て1世帯あたり)(円)	代替		279,742	☀ (横ばい)	---	
04	ひとり親家庭の自立率(%)	成果		12.6	☀ (横ばい)	---	
05	児童虐待通告件数(件)	成果		77	☀ (横ばい)	---	
05	児童に関する措置件数(件)	成果		1	☁ (横ばい)	---	
06	出生者数(計画期間累計)(人)	成果		160	☁ (横ばい)	---	
06	結婚する意欲のある独身者の割合(%)	成果		80.7	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 04 子育ての支援

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童（0～18歳未満） ・ 子育て家庭 	子育て環境が整っており、安心して産む・育てることができます。

施策の成果状況と評価

指標	子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【子育て支援課】	%	93.4		89.2	95
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合は89.2%で、基準値と比較して4.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 子育てしやすい環境整備等の子育て支援の充実を望んでいることが原因と考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■ ■ ■ (低)
指標	この地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【子育て支援課】	%	92.2		89	94.4
評価	<p>< 状況 > 令和5年度この地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合は89.0%で、基準値と比較して3.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 子育て世代への経済的支援や子育てしやすい環境整備等の子育て支援の充実を望んでいることが原因と考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■ ■ ■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	幼保機能の充実
基本事業 02	学童保育の充実
基本事業 03	子育て不安の軽減
基本事業 04	子育て家庭への援助
基本事業 05	こどもの人権の尊重
基本事業 06	次世代育成に係る家族形成の支援

基本事業01 幼保機能の充実

指標	就学前保育・教育に関する保護者の満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	%	96.9		96.3	98	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の就学前保育・教育に関する保護者の満足度は96.3%で、基準値と比較して0.6ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 園行事等を縮小したことや、保護者からの十分な要望、意見等を反映できなかったことが原因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業03 子育て不安の軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	%	86.3		90	91	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合は90.0%で、基準値と比較して3.7ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 新型コロナウイルス感染症の類型移行により利用制限が緩和され、保護者が保育施設を利用するなど、子育ての不安が少しずつ解消されたことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業04 子育て家庭への援助

指標	ひとり親家庭の自立率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	%	11.08		12.6	11.08	☀ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度のひとり親家庭の自立率は12.60%で、基準値と比較して1.52ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 児童扶養手当受給者数が7人減少し、本人所得超過により全部支給停止となった方が5人増加したことによると思われます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業06 次世代育成に係る家族形成の支援

指標	結婚する意欲のある独身者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	70.3		80.7	81.3	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の結婚する意欲のある独身者の割合は80.7%で、基準値と比較して10.4ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > アンケートの結果では、男女ともに数値の上昇がみられることから、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、社会全体を通して他者との接触の機会が増加したことによって、結婚に対する意識にも変化が見られたものと考えます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■■■ (高)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・国では、社会的孤立や生活困窮等の問題も含め、全ての人々が地域、暮らし、生きがいをともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指しています。
- ・「社会福祉法」には、地域住民が自ら地域の生活課題を把握し、解決に向けて各種支援機関と連携しながら活動するということが、地域福祉の理念として掲げられています。一人でも多くの市民が地域活動に参加することのできる仕組みを整備し、地域活動の活性化を図ります。
- ・非正規雇用労働者や低所得の給与収入者など、生活に困窮するリスクの高い層が増加しているため、相談支援体制を強化します。
- ・生活保護受給者数は、高齢化により年々増加し、今後も増加が見込まれています。法改正により、自立支援機能が強化されており、受給者の自立支援に取り組んでいきます。
- ・老朽化が進行する公営住宅は、長寿命化計画に基づき、計画的な点検や修繕等を実施します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合(%)	成果		38.5	☂ (低下)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	地域福祉活動をしている市民割合(%)	成果		8.8	☂ (低下)	---	
01	福祉活動の市民活動団体の加入者数(人)	成果		1,461	☀ (横ばい)	---	
02	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数(人)	成果		20,219	☀ (向上)	---	
02	民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数(日)	成果		75	☀ (向上)	---	
03	生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合(%)	成果		21.3	☂ (低下)	---	
04	自立による生活保護廃止件数(件)	成果		6	☂ (低下)	---	
04	生活保護率(‰)	代替		9.65	☂ (低下)	---	
05	公営住宅長寿命化進捗率(%)	成果		0	☁ (横ばい)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 05 地域福祉の充実とセーフティネットの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民 ・ 生活困窮者 	地域での相互扶助や公的支援により安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標	地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【社会福祉課】	%	43.7		38.5	50
評価	<p>< 状況 > 令和 5 年度の地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合は38.5%で、基準値より5.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > アンケート結果では、50歳代から64歳代までの世代、職業区分では、会社員や自営業の方の結果が大きく落ち込んでいることから、コロナ禍からの回復により、仕事などの社会活動が復活し、福祉活動へかける時間の捻出が難しくなっていることが要因であると考えます。</p>						対前年度
							達成状況 ■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	地域福祉の担い手育成
基本事業 02	社会福祉機関・団体の充実
基本事業 03	生活困窮者自立支援の充実
基本事業 04	生活保護制度の適正な実施
基本事業 05	公営住宅の維持管理

基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標	地域福祉活動をしている市民割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	%	16.6		8.8	19	☔ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の地域福祉活動をしている市民割合は8.8%で、基準値より7.8ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > アンケート結果では、30歳代から50歳代までの世代、職業区分では、会社員や自営業の方の結果が大きく落ち込んでいることから、コロナ禍からの回復により、仕事などの社会活動が復活し、福祉活動へかける時間の捻出が難しくなっていることが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業02 社会福祉機関・団体の充実

指標	民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	日	65		75	90	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の民生委員児童委員1人当たりの年間活動日数は75日で、基準値より10日増加しました。</p> <p>< 原因 > 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、民生委員児童委員の見守り活動が活発になったことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業04 生活保護制度の適正な実施

指標	自立による生活保護廃止件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	件	12		6	12	☔ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の自立による生活保護廃止件数は6件で、基準値と比較して6件減少しました。</p> <p>< 原因 > 令和5年度の保護受給世帯の93.8%が高齢者、傷病・障害者世帯となっており、自立支援の対象となる世帯が減少していることが要因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業05 公営住宅の維持管理

指標	公営住宅長寿命化進捗率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【都市整備課】	%	0		0	74	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の公営住宅長寿命化進捗率は0%となり、基準値と同値になりました。</p> <p>< 原因 > 発注予定であった外壁塗装・屋根防水改修設計について、人件費等の高騰のため費用不足となり、執行することができなかったことが要因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)



【政 策】

5 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

【施 策】

5-1 学校教育の充実

5-2 生涯学習の推進

5-3 スポーツの振興

5-4 人権尊重のまちづくり

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・児童・生徒数は今後も減少が見込まれます。「山武市立小中学校の規模の適正化・適正配置基本計画」に基づき、小学校の複式学級及び中学校の単学級の解消を図ります。
- ・近年の教育課題として、経済格差から子どもの学ぶ意欲や学力の低下、規範意識や倫理観の欠如等、社会を構成する一員としての責任の自覚や正義感の乏しさ等が懸念されています。
- ・確かな学力の向上を図るため、個に応じた少人数指導の充実による指導方法の工夫改善に取り組みます。
- ・児童・生徒一人ひとりのニーズに対応するために、支援員の配置等の人的支援を含めた具体的な対応策を講じます。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業においてICT 機器の有効活用に取り組みます。
- ・社会全体で子どもたちを守り育むため、学校・家庭・地域が協働できる体制づくりを推進します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
学校生活に満足している児童の割合 (%)	成果		91.5	☂ (低下)	---	
学校生活に満足している生徒の割合 (%)	成果		94.9	☀ (向上)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	学力の定着が見られる児童の割合 (%)	成果		55.9	☂ (低下)	---	
01	学力の定着が見られる生徒の割合 (%)	成果		49.3	☂ (低下)	---	
01	中学校卒業時に英語検定 3級以上を取得している生徒の割合 (%)	成果		41.7	☂ (低下)	---	
02	生活習慣の改善に努めた生徒の割合 (%)	成果		5.6	☂ (低下)	---	
02	朝食を毎日食べている児童・生徒の割合 (%)	成果		80.8	☁ (横ばい)	---	
03	不登校児童の割合 (%)	成果		1.84	☂ (低下)	---	
03	不登校生徒の割合 (%)	成果		7.93	☂ (低下)	---	
03	道徳性、規律性がある児童・生徒の割合 (%)	成果		94.3	☀ (横ばい)	---	
04	ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う児童(高学年)の割合 (%)	成果		71	☀ (横ばい)	---	
04	ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合 (%)	成果		59.3	☁ (横ばい)	---	
04	授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合 (%)	成果		74.7	☀ (向上)	---	
05	学校施設の不具合による学校生活支障件数 (件)	成果		0	☀ (向上)	---	
05	安全な給食を確実に提供できなかった件数 (件)	成果		0	☀ (向上)	---	
05	複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数(校)	成果		0	☀ (向上)	---	
06	学校教育活動に協力した市民数(人)	成果		137	☂ (低下)	---	
06	学校支援活動に協力した市民数(人)	成果		123	☂ (低下)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・児童 ・生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に満足している児童生徒が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	学校生活に満足している児童の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【子ども教育課】	%	92		91.5	95
評価	<p>< 状況 > 学校生活に満足している児童の割合は91.5%で、基準値と比較して0.5ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > アンケート結果を分析すると、新型コロナウイルス感染症の影響で控えていた行事を早く元に戻した学校ほど満足度が高く出ているため、すべての行事が元通りになっていないことなどが低下している要因と考えられます。</p>						対前年度 ---
					<p>達成状況 ■ (低)</p>		
指標	学校生活に満足している生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【子ども教育課】	%	90.3		94.9	95
評価	<p>< 状況 > 学校生活に満足している生徒の割合は94.9%で、基準値より4.6ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > アンケート結果を分析すると、新型コロナウイルス感染症の影響で控えていた部活動や体育祭、修学旅行等の学校行事がコロナ禍前と同様に実施できたことなどが要因と考えられます。</p>						対前年度 ---
					<p>達成状況 ■ (高)</p>		

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
基本事業 02 「健やかな体」の育成
基本事業 03 「豊かな心」を育む
基本事業 04 ICT教育の実践
基本事業 05 教育環境の整備
基本事業 06 地域と学校の協力体制の推進

基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	学力の定着が見られる児童の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	62		55.9	63	☔ (低下)
評価	<p><状況> 学力の定着が見られる児童の割合は55.9%で、基準値と比較して6.1ポイント減少しました。</p> <p><原因> 少人数指導体制を整えたり、一人一台端末を活用した学習指導法の工夫をし、個の習熟に応じた指導を試みているものの、活用頻度等、学年に応じて差が出てきていると考えられます。また、国語科における語彙の習得が不十分で問題文を正しく理解出来ていない事も考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業02 「健やかな体」の育成

指標	生活習慣の改善に努めた生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	15.9		5.6	30	☔ (低下)
評価	<p><状況> 小児生活習慣病健診で要医療・要指導と判定された生徒の内、受診・面談等、生活習慣の改善に努めた生徒の割合は5.6%で、基準値と比較して10.3ポイント減少しました。</p> <p><原因> 生徒、保護者ともに、健康な体づくりに対する意識が低いことが原因と考えます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業04 ICT教育の実践

指標	ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	61.2		59.3	72	☁ (横ばい)
評価	<p><状況> 令和5年度のICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合は59.3%で、基準値と比較して1.9ポイント減少しました。</p> <p><原因> 中学生全体のICT機器の習熟率が上昇しているため、生徒が授業に求めるICT機器の活用度合が高くなっていることが、相対的に数値が低下した原因であると考えます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業05 教育環境の整備

指標	学校施設の不具合による学校生活支障件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【施設整備課】	件	0		0	0	☀ (向上)
評価	<p><状況> 学校施設の不具合による学校生活支障件数は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p><原因> 専門家による点検や日常点検等を行ったことにより、危険箇所の把握及び施設の状況把握をすることができ、緊急度に基づき迅速な修繕工事等を行ったことが主な要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ☀ (達成)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・生涯学習の推進については、学習施設の環境整備や世代に沿った自主事業及び講座等のニーズを取り入れ、市民の学習意欲の向上を図ります。
- ・施設利用者の高齢化・固定化が進むなか、市民誰もが参加しやすい学習及び文化事業を推進します。また、各施設については、公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化等に対する適正配置や維持管理を行います。
- ・市内には国が指定する2件の文化財のほか、県12件及び市90件の指定文化財があり、これらを周知・活用した学習機会を増やし、郷土愛の醸成につなげます。
- ・芸術文化に対する市民の関心と活動への参加意欲を高めるとともに、郷土芸能活動をはじめ、伝統文化等の継承及び保存活動に取り組んでいきます。
- ・青少年の育成については、急速に進むグローバル化に対応するため、海外交流を通して多文化を学び理解することで、国際競争力を身につけ、広い視野を持つ人材の育成を行います。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)(%)	成果		28.7	☀ (横ばい)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	市主催の生涯学習講座の年間参加者数(人)	成果		1,108	☁ (横ばい)	---	
01	自主クラブ登録数(グループ)	成果		179	☀ (向上)	---	
02	生涯学習施設の利用者数(人)	成果		218,185	☀ (向上)	---	
02	この1年間に図書館を利用したことがある市民割合(%)	成果		6.5	☀ (横ばい)	---	
02	公共施設維持管理費(生涯学習施設分)(万円)	成果		28,356	☂ (低下)	---	
03	市民が認識している市内文化財数(全8項目)(項目)	成果		3.33	☁ (横ばい)	---	
03	文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数(人)	成果		4,324	☂ (低下)	---	
04	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合(%)	成果		75.8	☀ (向上)	---	
04	市主催の芸術文化事業への参加者数(人)	成果		4,379	☀ (向上)	---	
04	芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合(%)	成果		27.5	☁ (横ばい)	---	
05	青少年育成事業 体験学習への児童・生徒参加者数(人)	成果		912	☀ (横ばい)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 02 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 (主に学校教育を終了した市民)	・生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【生涯学習課】	%	26.9		28.7	33
評価	<状況> 生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)は28.7%で、基準値と比較して1.8ポイント増加しました。 <原因> コロナ禍からの行動制限が緩和されたことに伴い再開した市事業への参加者数が増えたことや、高齢者のサークル数が増加したことなどが要因と考えられます。						対前年度

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
 なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	主体的な学習の推進
基本事業 02	生涯学習施設の利用促進
基本事業 03	文化財の保護・活用
基本事業 04	芸術文化活動の充実
基本事業 05	青少年の育成

基本事業01 主体的な学習の推進

指標	市主催の生涯学習講座の年間参加者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【公民館】	人	1,142		1,108	3,000	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の市主催の生涯学習講座の年間参加者数は1,108人で、基準値と比較して34人減少しました。</p> <p>< 原因 > 参加者数は、基準値と比較して3%の減となっており、ほぼ横ばいと考えますが、類似ジャンルの講座への参加者が少ないことや、一講座当たりの定員数を少なくした講座があることなどが、参加者数が増加しなかった要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業02 生涯学習施設の利用促進

指標	この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【図書館】	%	6.3		6.5	7.1	☀ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度のこの1年間に図書館を利用した事がある市民の割合は6.5%で、基準値と比較して0.2ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 新型コロナウイルス感染症対策による利用制限がなくなったことや、定例おはなし会を再開するなどコロナ禍前に近い状況で事業を実施したことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業04 芸術文化活動の充実

指標	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【文化会館】	%	65.2		75.8	65.2	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合は75.8%で、基準値より10.6ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 適切なタイミングで情報発信を行ったこと及び、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことにより自粛傾向が緩和されたことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ☑ (達成)

基本事業05 青少年の育成

指標	青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【生涯学習課】	人	856		912	2,553	☀ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の青少年育成事業等への児童・生徒の参加者数は912人で、基準値と比較して56人増加しました。</p> <p>< 原因 > コロナ禍からの行動制限の緩和により、少年海外派遣支援事業の再開や、青少年育成団体の事業がコロナ禍前と同じく開催できたことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・市公式チャンネルを活用した各団体による活動内容のPRや、市民参加型の魅力的なスポーツイベントの開催など、運動意欲を高める機会や環境づくりに取り組みます。
- ・専門的な知識や技術を有する指導者を育成し、スポーツ活動へ参加機会の充実を図り、参加者が減少傾向にあるスポーツ少年団等への加入を促進します。
- ・スポーツ施設の管理については、公共施設総合管理計画に基づき、施設の適正な管理を行い、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
スポーツ活動に親しむ市民の割合 (%)	成果		25.5	☔ (低下)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	スポーツ大会 教室へ参加した市民の割合 (%)	成果		7.1	☀ (横ばい)	---	
01	スポーツ大会 教室の機会の充足度 (%)	成果		76.2	☀ (向上)	---	
02	スポーツ団体数 (総合型地域スポーツクラブを含む) (団体)	成果		48	☀ (横ばい)	---	
02	体育関係団体の指導者数 (人)	成果		89	☀ (向上)	---	
03	体育施設の利用者数 (人)	成果		120,787	☀ (向上)	---	
03	公共施設維持管理費 (社会体育施設分) (万円)	成果		8,742	☁ (横ばい)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 03 スポーツの振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標	スポーツ活動に親しむ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値														
		【スポーツ振興課】	%	28		25.5	32.4	☔ (低下)													
評価	<p>< 状況 > 令和 5 年度のスポーツ活動に親しむ市民の割合は25.5%で、基準値と比較して2.5ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > コロナ禍によって生活様式の変化があり、社会状況は改善しましたが、個々人のスポーツに対する意識は以前のように回復しきっていないことが要因であると考えます。</p>		<p>(%)</p> <table border="1"> <caption>スポーツ活動に親しむ市民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>25.5</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>25.5</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>32.4</td> </tr> </tbody> </table>				項目	値 (%)	基準	28	R04	25.5	R05	25.5	R06	-	R07	-	R08	32.4	対前年度
	項目	値 (%)																			
基準	28																				
R04	25.5																				
R05	25.5																				
R06	-																				
R07	-																				
R08	32.4																				

							達成状況														
							■■■ (低)														

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
 なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ活動の充実

基本事業 02 体育関係団体・指導者の育成

基本事業 03 体育施設の利用促進

基本事業01 スポーツ活動の充実

指標	スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【スポーツ振興課】	%	5.4		7.1	10.1
評価	<p><状況> 令和5年度のスポーツ大会・教室へ参加した市民の割合は7.1%で、基準値と比較して1.7ポイント増加しました。</p> <p><原因> 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、スポーツ大会や教室がコロナ禍前と同様に開催できたことが要因と考えられます。</p>						☀ (対前年度)
							--- (達成状況)

基本事業01 スポーツ活動の充実

指標	スポーツ大会・教室の機会の充足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【スポーツ振興課】	%	66.8		76.2	69
評価	<p><状況> 令和5年度のスポーツ大会・教室の機会の充足度は76.2%で、基準値と比較して9.4ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p><原因> 市民体育祭に代わるイベントとして市民参加型の「エンジョイスports in山武2023」を開催した他、「スポーツフェスタ」「出前講座」等を通して軽スポーツの普及に努めたことが要因と考えられます。</p>						☀ (対前年度)
							--- (達成状況)

基本事業02 体育関係団体・指導者の育成

指標	スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【スポーツ振興課】	団体	48		48	50
評価	<p><状況> 令和5年度のスポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）は48団体で、基準値と同数です。</p> <p><原因> 少子化により児童・生徒の減少が進行していることで、スポーツ団体への加入者数の増加が見込めないことや、そもそもの人口減少によって、組織する大人の人数も減少しているため、新規での団体数が増加しなかった要因と考えます。</p>						☀ (対前年度)
							--- (達成状況)

基本事業03 体育施設の利用促進

指標	体育施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【スポーツ振興課】	人	71,523		120,787	124,000
評価	<p><状況> 令和5年度の体育施設の利用者数は120,787人で、基準値と比較して、49,264人増加しました。</p> <p><原因> 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、体育施設の開館状況や利用制限の廃止などによりコロナ禍以前の状態へと改善したことが要因です。</p>						☀ (対前年度)
							--- (達成状況)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・LGBTをはじめとする多様性を尊重する社会となることが求められており、人権教育及び啓発活動の重要性が増しています。
・市民が抱える様々な人権問題に、解決の糸口を見いだせるよう人権相談窓口を開設します。
・「あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合」は前総合計画期間においても低位で推移しており、本市の男女共同参画を推進していくうえで順調とはいえない状況にあります。令和5年度には「第4次山武市男女共同参画計画（計画期間は令和6年度から10年度）」を策定しました。当該計画に基づき、今後も本市の実情に即した事業施策に取り組み、男女共同参画社会基本法が目指す男女共同参画社会の形成の促進を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合 (%)	成果		56	 (横ばい)	---	
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合 (%)	成果		17.6	 (低下)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合 (%)	成果		25	 (横ばい)	---	
01	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合 (%)	成果		7.5	 (向上)	---	
02	人権侵害に対する措置件数 (件)	代替		1,449	 (低下)	---	
03	審議会などに女性委員が登用されている割合 (%)	成果		27.2	 (横ばい)	---	
03	男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合 (%)	成果		84.5	 (向上)	---	
03	男性が家事・育児に積極的に参加している割合 (%)	成果		38	 (横ばい)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 04 人権尊重のまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。 ・ あらゆる分野で男女が対等に参画している社会になっています。

施策の成果状況と評価

指標	人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	%	56.6		56	56.6
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合は56.0%で、基準値と比較して0.6ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > ほぼ横ばいであるため、人権擁護委員による小学校での人権教室の実施や啓発活動により、人権への意識が保たれていることが要因と考えます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■■■ (低)

指標	あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	%	19.5		17.6	25
評価	<p>< 状況 > あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合は17.6%であり、基準値と比較して1.9ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > アンケートの結果から、性別では女性、年齢別では40歳代と50歳代、職業別ではパートタイマー、アルバイト及び家事専業の方が低い傾向となっており、依然として男女で職業の差があることが要因であると考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 人権教育・人権啓発の推進

基本事業 02 人権擁護の推進

基本事業 03 男女共同参画の推進

基本事業01 人権教育・人権啓発の推進

指標	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	%	25.1		25	25.1
評価	<p><状況> 令和5年度のこの1年間に人権について学んだことのある市民の割合は25.0%で、基準値と比較して0.1ポイント減少しました。</p> <p><原因> ほぼ横ばいであるため、SDGsの基本目標にも人権に関する項目が複数あり、社会活動で人権に触れる機会が増えたことや、市が主催する人権教室などにより人権について学ぶ機会が提供されたことが、維持につながった要因と考えます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業02 人権擁護の推進

指標	人権侵害に対する措置件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	件	808		1,449	800
評価	<p><状況> 令和5年度の人権侵害に対する措置件数は1,449件で、基準値と比較して641件増加しました。</p> <p><原因> 措置件数のうち99%以上が児童生徒のいじめ認知件数となっており、いじめ防止対策推進法の理解が進んだことにより、いじめの認知に対する理解が広まり、以前は認知されていなかったケースがいじめとして認知され、適切に対応されるようになったことが原因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	審議会などに女性委員が登用されている割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	%	25.7		27.2	40
評価	<p><状況> 審議会などに女性委員が登用されている割合は27.2%であり、基準値と比較して1.5ポイント増加しました。</p> <p><原因> 審議会などの女性委員の登用数は、全体として7名増加したことが要因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	男性が家事・育児に積極的に参加している割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	%	37.4		38	45
評価	<p><状況> 男性が家事・育児に積極的に参加している割合は38.0%であり、基準値と比較して0.6ポイント増加しました。</p> <p><原因> パパママサロンや子育て講座等へ男性の参加を促し、意識啓発を行っていることが要因であると考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (中)



【政 策】

6 市民と行政が協働してつくるまちづくり

【施 策】

6-1 協働と交流によるまちづくり

6-2 開かれた市政とまちの魅力発信

6-3 計画的・効率的な行財政運営

6-4 公正確実な事務の執行

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 01 協働と交流によるまちづくり

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・少子高齢化や人口減少が進む中で、多様化・複雑化する社会情勢に対応したまちづくりを推進していくには、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が不可欠です。地域まちづくり協議会等を通じて各種団体等が交流・連携し、一体となって自らが課題解決に取り組むまちづくりを図ります。

・「市民活動（地域活動）等に参加している市民の割合」は、微減しています。市民が身近な地域活動を知り、市民活動団体が相互連携を深める機会を増やすなど、まちづくりに参加しやすい環境整備を進めます。

・「区・自治会加入率」は低下傾向であり、活動継続に必要な支援を行います。

・市内在住外国人と地域の人々が、共に理解し、対等な関係を築き、共に暮らしていけるまちづくりを推進していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
市民活動(地域活動)に参加している市民の割合(%)	成果		30.2	 (横ばい)	---	
NPO・ボランティア活動をしている市民の割合(%)	成果		9.4	 (横ばい)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	区・自治会加入率(%)	成果		66.95	 (横ばい)	---	
01	区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合(%)	成果		52.7	 (横ばい)	---	
02	市民活動に意欲的な市民割合(%)	成果		33.5	 (低下)	---	
02	市内に登録のあるNPO・ボランティア団体の会員数(人)	成果		1,666	 (向上)	---	
03	市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催回数(回)	成果		5	 (横ばい)	---	
04	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数(件)	成果		8	 (横ばい)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 01 協働と交流によるまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・NPO法人 ・市民活動団体 ・職員 	<p>・まちづくりや公共について、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が活発に行われています。</p>

施策の成果状況と評価

指標	市民活動（地域活動）に参加している市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	%	32.4		30.2	32.4
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の市民活動（地域活動）に参加している市民の割合は30.2%で、基準値と比較して2.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 参加している市民の割合が減少傾向にあるのは、参加者が高齢化していることや、団体等の活動自体が休止している状況にあることが原因として考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■ ■ ■ (低)
指標	NPO・ボランティア活動をしている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	%	11.1		9.4	11.1
評価	<p>< 状況 > 令和5年度のNPO・ボランティア活動をしている市民割合は9.4%で、基準値と比較して1.7ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > NPO・ボランティア活動に対して興味や関心が薄れていることが要因として考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■ ■ ■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 区・自治会活動の活性化

基本事業 02 市民活動の活性化

基本事業 03 協働のまちづくり推進の仕組みづくり

基本事業 04 多文化共生社会の推進

基本事業01 区・自治会活動の活性化

指標	区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	%	55.9		52.7	55
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合は52.7%で、3.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > SNS等の普及により、区・自治会に加入しなくても行政情報が受け取りやすくなったことや、共助への理解が浸透していないことが主な原因と考えられます。</p>						(横ばい) 対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動に意欲的な市民割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	%	38.9		33.5	39
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の市民活動に意欲的な市民割合は33.5%で、基準値と比較して5.4ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > アンケート結果では、「興味や関心がないので参加する気はない」が半数を超えているため、市民活動に対する周知が不足しており、意識の低下につながっている要因として考えられます。</p>						(低下) 対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業03 協働のまちづくり推進の仕組みづくり

指標	市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催回数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	回	-		5	25 (年5回)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催数は5回でした。</p> <p>< 原因 > 地域まちづくり協議会と1回、市民活動団体交流会と1回、市民活動フェスタ実行委員会と2回、小学校区代表の区・自治会長との意見交換会で1回、会議を実施したことが要因です。</p>						(横ばい) 対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業04 多文化共生社会の推進

指標	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【市民自治支援課】	件	10		8	8
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の多文化共生社会への行政・市民活動団体の取組数は8件で、基準値と比較して2件減少しましたが、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 外国人向けの生活ガイドブックの改訂版の発行や英語教育に関する事業は実施しましたが、海外派遣・受入れ事業の一部休止になったことで基準値より減少となった要因です。</p>						(横ばい) 対前年度 --- 達成状況 ■ (達成)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・株式会社ブランド総合研究所の地域ブランド調査によると、山武市の認知度は1,000市区町村中838位（2023年度現在）となっています。首都圏に位置し、成田国際空港に近接している立地メリットや、市の魅力を積極的に発信することで、山武市への関心を喚起し、観光等来訪者、関係人口及び移住者の増加を推進していきます。
- ・広報紙や議会だよりの創意工夫に加え、新聞離れやインターネットメディアの普及等から、SNSを活用しながら、市政情報の伝達手段の多様化に取り組みます。
- ・「市長への手紙」等の制度により、市政に対する市民からの意見や提言を市政に反映させ、市民参加でのまちづくりを進めます。
- ・ICTを活用した議会中継配信の周知等を通じ、議会への関心を高めていきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
市政情報の提供の満足度 (%)	成果		84.5	☁ (横ばい)	---	
多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合 (%)	成果		62.4	☀ (横ばい)	---	
この1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えたことがある市民の割合 (%)	成果		23.3	☀ (向上)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	広報紙を読んでいる市民の割合 (%)	成果		86.8	☂ (低下)	---	
01	広報紙が分かりやすいと思う市民の割合 (%)	成果		86.2	☂ (低下)	---	
01	ホームページ等のITを活用した市からの情報提供に満足している市民割合 (%)	成果		92.1	☀ (横ばい)	---	
02	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合 (%)	成果		26.1	☁ (横ばい)	---	
03	SNS等による市からの情報発信件数 (件)	成果		43,667	☂ (低下)	---	
03	市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数 (人)	成果		5,181	☀ (向上)	---	
04	議会だよりを読んでいる市民の割合 (%)	成果		40.8	☁ (横ばい)	---	
04	市議会を傍聴した人数 (議会インターネット中継アクセス件数含む) (件)	成果		2,535	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 02 開かれた市政とまちの魅力発信

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> 市民 行政 国民 職員 	<ul style="list-style-type: none"> 市政情報が適切に市民に伝わるとともに、市民の意見が市政に取り入れられています。 市民一人ひとりが愛着を持ち、市の魅力を伝えています。

施策の成果状況と評価

指標	市政情報の提供の満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	85.5		84.5	90	☁️ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の市政情報の提供の満足度は84.5%で、基準値より1.0ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > SNSやメール配信サービスの周知不足や、ホームページ上で情報の検索がしにくいことなど要因として考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)
指標	多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	60		62.4	65	☀️ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合は62.4%で、基準値より2.4ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 市ホームページに「市長への手紙」受付件数や、実際に対応等を行った主な案件等を掲載したことにより、広聴業務における透明性の改善が要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)
指標	この1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えることがある市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	17.6		23.3	25	☀️ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度のこの1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えることがある市民の割合は23.3%であり、基準値より5.7ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 広報紙および市公式X等のSNSで、特徴や市の魅力など良い点を工夫を凝らし発信したことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■■■ (高)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 広報の充実

基本事業 02 広聴の充実

基本事業 03 市の魅力発信の強化

基本事業 04 議会情報の公開の推進

基本事業01 広報の充実

指標	広報紙を読んでいる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【秘書広報課】	%	89.7		86.8	91.2
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の広報紙を読んでいる市民の割合は86.8%で、基準値より2.9ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > ライフスタイルの変化により、SNSを利用して必要な情報だけ入手する人が増えたことなどが要因と考えられます。</p>						☔ (低下)

基本事業02 広聴の充実

指標	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【秘書広報課】	%	26.2		26.1	33
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の市民の声が市政に届いていると思う市民の割合は26.1%で、基準値より0.1ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > ほぼ横ばいであるため、「市長への手紙」や、区長要望などに出した意見が成果に結びついていないと感じている市民が一定の人数いることが要因と考えられます。</p>						☁ (横ばい)

基本事業03 市の魅力発信の強化

指標	市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【秘書広報課】	人	2,128		5,181	5,230
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数は5,181人で、基準値より3,053人増加しました。</p> <p>< 原因 > 様々なPR効果により、ふるさと納税寄附者数が令和4年度から1,759人増え、またXの投稿数の増加に伴いXのフォロワー数が増えたことが要因と考えられます。</p>						☀ (向上)

基本事業04 議会情報の公開の推進

指標	議会だよりを読んでいる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【議会事務局】	%	42.8		40.8	47
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の議会だよりを読んでいる市民の割合は40.8%で、基準値と比較して2.0ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 議会だよりを読んでいる市民の年代に大きな差があり、若年層が特に低く、議会インターネット中継等別の情報ツールにより議会情報を取得していることが要因と考えます。</p>						☁ (横ばい)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・市民の行政に対するニーズは多様化・複雑化しています。市では行政評価の仕組みにより、定量的に施策の成果を確認しながら、事業・事務の見直しを行い、変化する市民ニーズに対応していきます。
- ・歳入の約4割を占める地方交付税は、市町村合併による特例加算の終了や人口の減少により減額が見込まれます。減少する歳入と歳出の調整を行い、計画的な財政運営に取り組んでいきます。
- ・市では公共施設等総合管理計画などの計画を策定し、市が保有する公共施設・インフラ資産の更新や改修などを計画的に行うとともに、市の人口・財政規模に見合った公共施設の整備を推進します。
- ・少子高齢化の進行に対応するため、単なる新技術の導入ではない、地域社会全体のデジタル変革が求められています。市の状況に合ったデジタル技術の導入によって、市民の利便性・満足度の向上、行政運営の効率化を推進します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
施策の目標達成率(%)	成果		14.6	☂ (低下)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	基本事業の目標達成率(%)	成果		28.3	☂ (低下)	---	
01	PDCAサイクルを意識している職員の割合(%)	成果		54.4	☂ (低下)	---	
02	年次休暇取得日数が10日以上の方の割合(%)	成果		65.7	☀ (向上)	---	
02	職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合(%)	成果		75.7	☀ (横ばい)	---	
02	部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合(%)	成果		76.1	☀ (向上)	---	
03	経常収支比率(%)	成果		94.8	☂ (低下)	---	
03	実質公債費比率(%)	成果		6.1	☀ (向上)	---	
03	経常経費に占める一般財源の割合(%)	成果		75.6	☀ (向上)	---	
04	市税収納率(%)	成果		98.09	☀ (横ばい)	---	
05	市保有の土地活用率(%)	成果		51.9	☀ (向上)	---	
05	公共施設維持管理費(万円)	成果		175,614	☂ (低下)	---	
06	市のICTサービスを利用している市民の割合(%)	成果		46.5	☁ (横ばい)	---	
06	ICTを活用した行政サービス、行政事務の改善件数及び新規導入件数(計画期間累計)件	成果		11	☀ (横ばい)	---	

掲載欄に ☁のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 03 計画的・効率的な行財政運営

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・市民 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的・効率的・効果的な行財政運営が行われ、まちづくりが推進しています。

施策の成果状況と評価

指標	施策の目標達成率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	%	42.5		14.6	60
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の施策の目標達成率は14.6%で、基準値と比較して27.9ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 令和5年度は第3次総合計画の初年度にあたり、新規の指標が9指標、変更となった指標が7指標あり、その内達成となったものは、2指標のみとなっています。</p> <p>継続とした指標が25指標あり、その大半がコロナ禍前への回復を目指しており、回復途上であることが要因であると考えます。</p>						対前年度

							■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	行政経営の推進
基本事業 02	人材育成と効率的な組織運営
基本事業 03	健全な財政運営
基本事業 04	税収の確保
基本事業 05	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
基本事業 06	自治体DXの推進と市民サービスの向上

基本事業01 行政経営の推進

指標	基本事業の目標達成率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	39.6		28.3	70	☔ (低下)
評価	<p>< 状況 > 基本事業の目標達成率は28.3%で、基準値と比較して11.3ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 令和5年度は第3次総合計画の初年度にあたり、新規の指標が68指標、変更となった指標が34指標あり、その内達成となったものは、24指標となりました。 継続とした指標が103指標あり、コロナ禍前への回復を目指している指標において、今だ回復途上であることが要因であると考えます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

基本事業03 健全な財政運営

指標	経常収支比率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【財政課】	%	89.4		94.8	95	☔ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の経常収支比率は94.8%で、基準値から5.4%ポイント上昇したものの、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 大型事業分の償還開始による公債費の増加や、扶助費の増加などにより、経常的支出が増加したため、経常収支比率は上昇しましたが、めざそう値の範囲内に収められたことが要因です。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

指標	市保有の土地活用率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【財政課】	%	49.1		51.9	50	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の市保有の土地活用率は51.9%で、基準値と比較して2.8ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 規模が大きな学校跡地の貸付期間が終了した一方で、小・中規模の貸付が増加したことに加え、一般競争入札による土地の売払いを行い、未利用土地を処分したことが土地活用率の上昇につながったものと考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 🏰 (達成)

基本事業06 自治体DXの推進と市民サービスの向上

指標	市のICTサービスを利用している市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	46.5		46.5	50.5	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の市のICTサービスを利用している市民の割合は46.5%で、基準値と比較し同数でした。</p> <p>< 原因 > 特に10歳代及び70歳以上のICTサービス利用率が低く、各々の世代のニーズを満たしていないことが要因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・令和5年度は、山武市小松地先市有地における土砂搬入事案、工事請負費の過年度支払の事案など、公正確実な事務の執行において、市民の信頼を失墜させる事案が発生しました。このため、市民の誰もが公正で確実な行政サービスを楽しむことができるよう取り組みます。
・令和5年度は、ホームページ上で誤って個人情報を掲載するなど、個人情報の漏洩事案が発生しました。このため、市が保有する個人情報が適正に管理・保護されるよう取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数 (件)	成果		0	☀ (向上)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対基準値	対前年度	掲載
01	例月現金出納検査の指摘事項件数 (件)	成果		37	☂ (低下)	---	
02	市長選 市議選の投票率 (%)	成果		50.21	☀ (向上)	---	
02	各種選挙の管理執行上の問題件数 (件)	成果		0	☀ (向上)	---	
03	監査による指摘事項等の措置率 (%)	成果		100	☀ (向上)	---	
04	情報公開請求における不服申立による変更件数 (件)	成果		0	☀ (向上)	---	
04	個人情報の漏洩件数 (件)	成果		1	☂ (低下)	---	
05	戸籍 住民基本台帳の誤記載申し出による事件数 (件)	成果		0	☀ (向上)	---	
06	不服申立等により課税誤りになった件数 (件)	成果		0	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 04 公正確実な事務の執行

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民 ・ 職員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公正で確実な行政サービスを受けることができます。

施策の成果状況と評価

指標	適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【総務課】	件	0		0	0
評価	< 状況 > 令和5年度の適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 指標値は、山武市職員の分限、懲戒等に関する審査会で「事務処理に関して」の戒告以上の処分件数であり、令和5年度は0件であるものの、令和6年度は案件が見込まれます。		(件) 				対前年度

							達成状況 👑 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	適正な会計処理
基本事業 02	積極的な選挙啓発
基本事業 03	監査の充実
基本事業 04	情報公開及び個人情報保護の推進
基本事業 05	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理
基本事業 06	公平・公正な課税

基本事業01 適正な会計処理

指標	例月現金出納検査の指摘事項件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【会計課】	件	26		37	25	☔ (低下)
評価	<p><状況> 令和5年度の例月現金出納検査の指摘事項件数は37件で、基準値より11件増加しました。</p> <p><原因> 重大な不備である指摘事項件数は0件で、軽微な事務処理等にかかる指導事項件数は37件となったため、確認不足による誤りがあったことが要因であると考えます。</p>						対前年度
		---	達成状況				
							■ (低)

基本事業02 積極的な選挙啓発

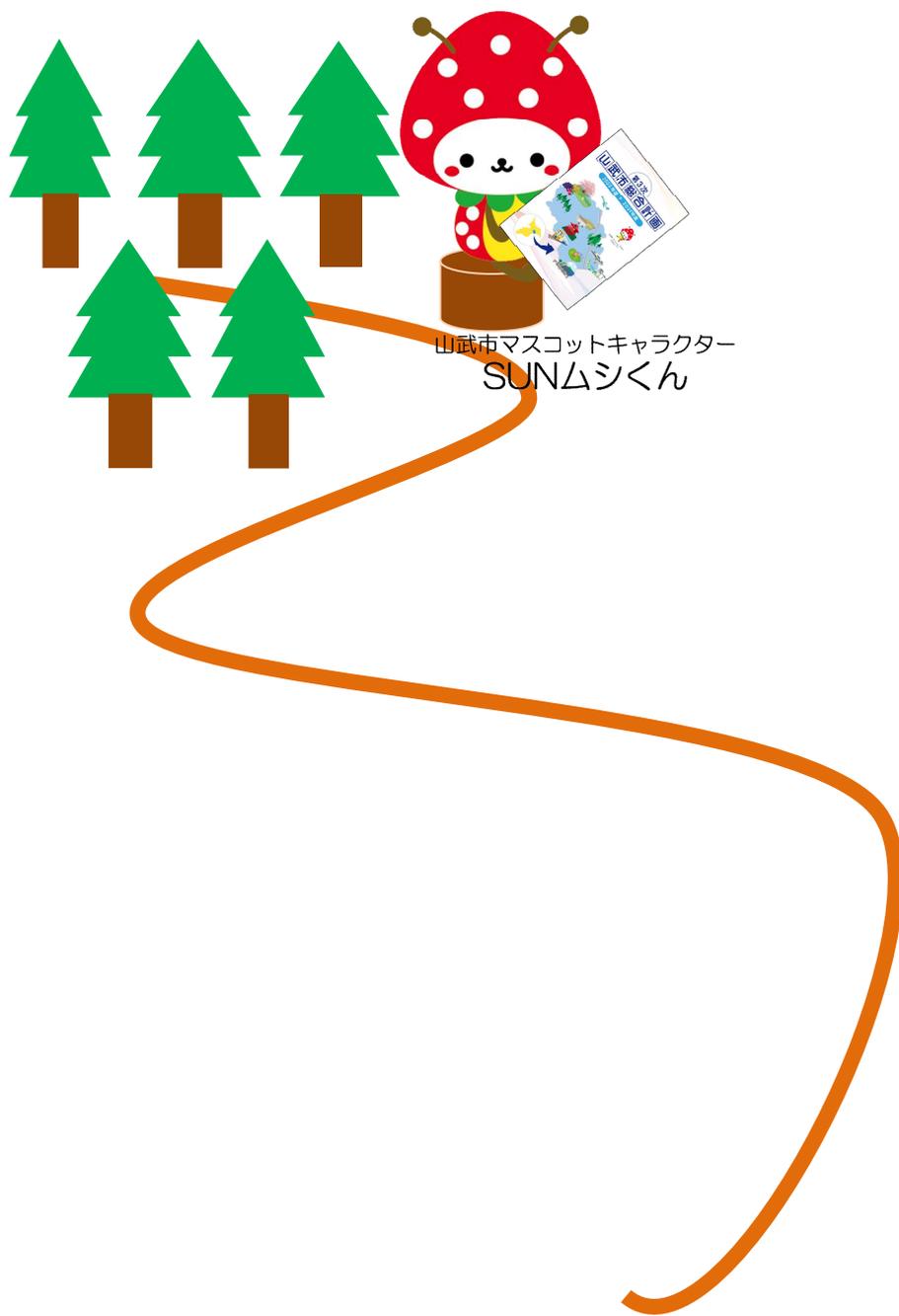
指標	各種選挙の管理執行上の問題件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【選挙管理委員会事務局】	件	0		0	0	☀ (向上)
評価	<p><状況> 令和5年度の各種選挙の管理執行上の問題件数は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p><原因> 令和5年度は、令和5年4月23日執行の市議選が実施され、投票事務・開票事務の事務従事者が適正な事務を執行していることが要因です。</p>						対前年度
		---	達成状況				
							🏰 (達成)

基本事業03 監査の充実

指標	監査による指摘事項等の措置率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【監査委員事務局】	%	100		100	100	☀ (向上)
評価	<p><状況> 令和5年度の監査等による指摘事項などの措置率は100%で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p><原因> 監査等の結果、是正すべき点を明確にすることにより、事務が適正に行われ、すべて措置が講じられたことが要因です。</p>						対前年度
		---	達成状況				
							🏰 (達成)

基本事業04 情報公開及び個人情報保護の推進

指標	個人情報の漏洩件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【総務課】	件	0		1	0	☔ (低下)
評価	<p><状況> 令和5年度の個人情報の漏洩件数は1件で、基準値より1件増加しました。</p> <p><原因> 令和5年8月16日に成東中央公民館のホームページ上で個人情報が漏洩する事案が発生しました。個人情報が掲載されている内部資料を誤ってホームページ上に掲載したものであり、複数の職員による確認を怠ったことが要因と考えられます。</p>						対前年度
		---	達成状況				
							■ (低)



山武市マスコットキャラクター
SUNムシくん

山武市まちづくり報告書
令和6年11月
発行／山武市
編集／総合政策部企画政策課
〒289-1392 千葉県山武市殿台 296 番地
TEL : 0475-80-1132